クラウドバックアップサービス

ユーザーマニュアル

2023年12月12日改定版

はじめに ＿＿＿＿＿＿ **P03**
1．インストールと初期設定 ＿＿＿＿＿＿ **P04 ~ 06**
2．アプリ画面説明 ＿＿＿＿＿＿ **P07**
－アプリとWebの違い ＿＿＿＿＿＿ P07
－ホーム：バックアップ待機中 ＿＿＿＿＿＿ P08
－ホーム：バックアップ実行中 ＿＿＿＿＿＿ P09
－バックアップデータの選択：おまかせバックアップ ＿＿＿＿＿＿ P10
－バックアップデータの選択：選んでバックアップ ＿＿＿＿＿＿ P11
－バックアップデータの選択：コールドストレージ ＿＿＿＿＿＿ P12
－バックアップデータの選択：ファイルフィルター ＿＿＿＿＿＿ P13
－設定：スケジュール ＿＿＿＿＿＿ P14
－設定：速度 ＿＿＿＿＿＿ P15
－設定：デュアルバックアップ ＿＿＿＿＿＿ P16
－設定：デュアルバックアップ（ファイルフィルター） ＿＿＿＿＿＿ P17
－設定：高度な設定 ＿＿＿＿＿＿ P18 ~ 19
－設定：モバイルアプリ ＿＿＿＿＿＿ P20
－設定：環境設定 ＿＿＿＿＿＿ P21
－復元 ＿＿＿＿＿＿ P22
3．Web管理画面説明 ＿＿＿＿＿＿ **P23**
－ホーム ＿＿＿＿＿＿ P23
－マイコンピューター ＿＿＿＿＿＿ P24 ~ 26
－アカウント設定 ＿＿＿＿＿＿ P27
4．復元 ＿＿＿＿＿＿ **P28**
－アプリからの復元 ＿＿＿＿＿＿ P28 ~ 31
－Webブラウザからの復元 ＿＿＿＿＿＿ P32 ~ 33
－リモート復元 ＿＿＿＿＿＿ P34 ~ 35
5．その他機能 ＿＿＿＿＿＿ **P36**
－共有 ＿＿＿＿＿＿ P36 ~ 39
－アップロード ＿＿＿＿＿＿ P40
6．バックアップマーカー ＿＿＿＿＿＿ **P41**
7．アプリのアンインストール ＿＿＿＿＿＿ **P42**
8．動作環境と注意事項 ＿＿＿＿＿＿ **P43 ~ 46**

◆このマニュアルについて

このマニュアルは、AOSBOX Business DBをご利用いただく際、ユーザーとして使用する機能を参照していただくマニュアルとなります。

AOSBOX Business DBの管理者としての使用方法については、別紙管理者マニュアルをご参照ください。

◆前回からの更新

◇動作環境の変更
・対応OSが変更になりました。

1．インストールと初期設定

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをインストールします。

① WebブラウザからAOSBOX (https://aokca.aosboxrs.com/Signin) へアクセスし、管理者から配布されたメールアドレス、パスワードを入力して**「ログイン」**をクリックします。

②「バックアップ概要」のページが開きますので、画面右上の**「AOSBOX Business DBをダウンロード」**をクリックします。

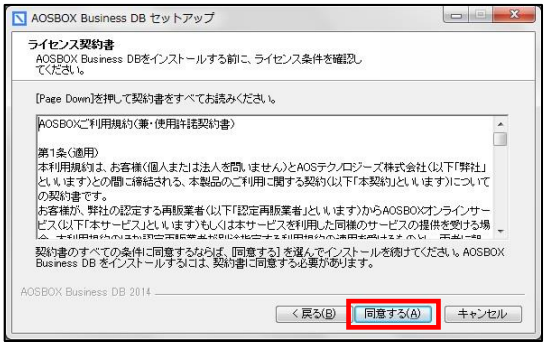
インストール時のご注意
インストールには、インターネットへの接続が必要となります。インストールするパソコンのインターネット接続をご確認の上、作業を開始してください。

③ダウンロードした「CloudBackupSetup」をダブルクリックします。

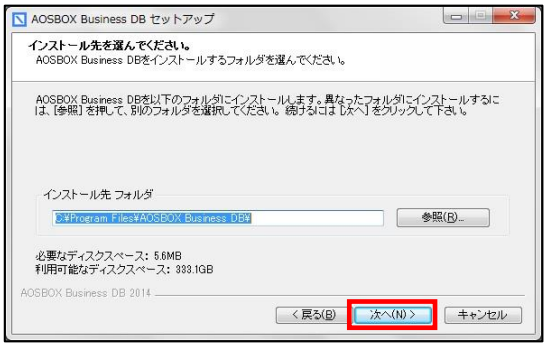
④「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがありますが**「はい(Y)」**をクリックします。

⑤「AOSBOX Business DB セットアップ」ダイアログが表示されます。**「次へ(N)」**をクリックします。

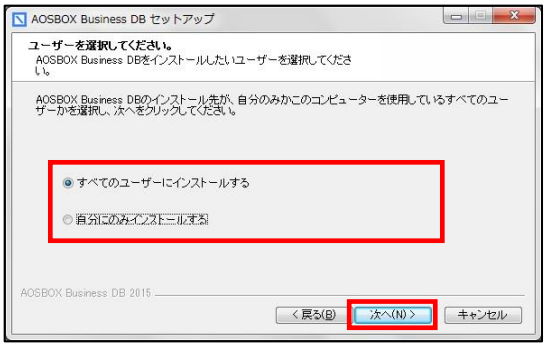
⑥「ライセンス契約書」が表示されますので、内容をご確認いただいた上で**「同意する(A)」**をクリックします。



⑦インストール先を指定します。特に変更が無い場合はそのまま**「次へ(N)」**をクリックします。

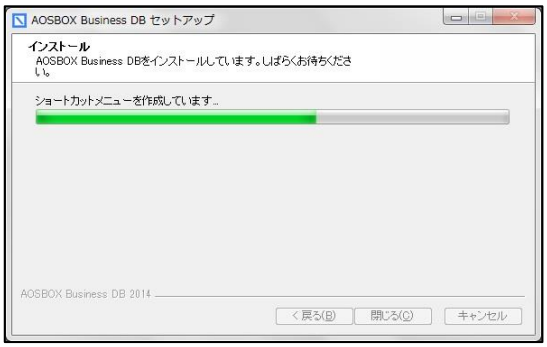


⑧インストール先のユーザーを選択し**「次へ(N)」**をクリックします。

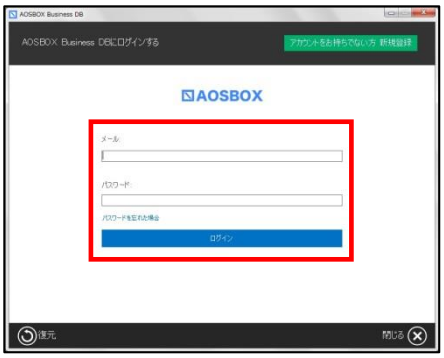


インストール先のご注意
特に必要が無い場合は、インストール先は変更しないでください。また、必要により変更する場合は、必ずインスートル先に「AOSBOX」フォルダーを作成の上、そのフォルダーを指定してください。

⑨インストールが開始します。しばらくするとインストールが終了します。



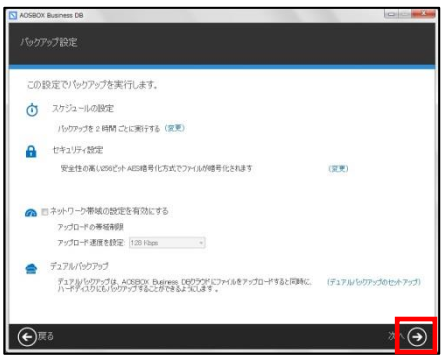
⑩①で使用したメールアドレス、パスワードを入力し、**「ログイン」**をクリックします。ポリシーを設定されている場合は、⑬へ進んでください。



⑩ポリシーを設定されているかどうかは管理者へお問合せください。

⑪ 「バックアップデータの選択」画面が表示されます。対象カテゴリーにチェックを入れ、画面右下の**「→」**をクリックします。

⑫ 「バックアップ設定」画面が表示されます。画面右下の**「→」**をクリックします。



⑪個別にファイル・フォルダーをバックアップしたい場合は、画面上部の**「選んでバックアップ」**から選択します。

⑫スケジュールとセキュリティ、その他の設定が可能です。以降の章で詳しく説明します。

⑬インストールが完了しました。画面右下の**「✓」**をクリックします。

⑭「AOSBOX Business DB」ダイアログが表示されます。自動でバックアップを開始します。

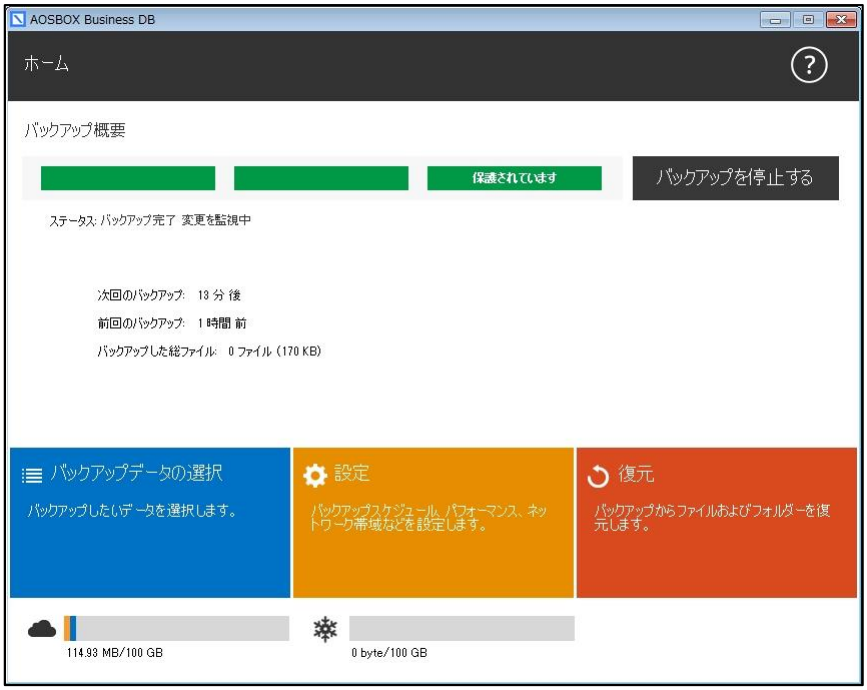
⑭初回のバックアップは選択したファイルをすべてバックアップするため、時間がかかります。ご了承ください。

※すぐにバックアップを開始する場合は**「今すぐ実行」**をクリックします。

アプリとWeb管理画面の違い

AOSBOX Business DBのアプリとWeb管理画面のできることの違いを説明します。どちらもバックアップデータの復元は可能ですが、主な違いとして、アプリではバックアップの設定、Webではバックアップデータのプレビューが可能です。**※管理者がポリシーを設定されている場合は、アプリの「バックアップデータの選択」「設定」はお使いになれません。**

アプリのホーム画面



アプリでは以下の内容を実施できます。

・バックアップしたファイル・フォルダーを復元する

・世代管理しているファイルを復元する

・削除したファイル・フォルダーを復元する

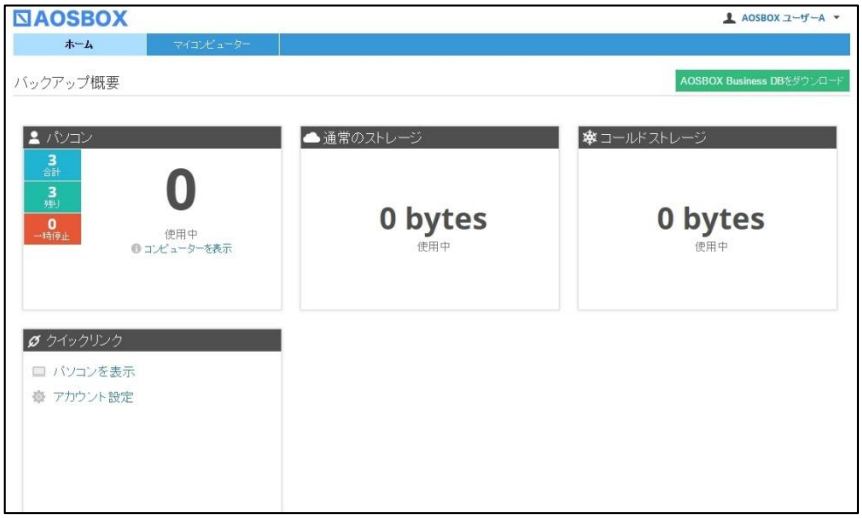
・**バックアップしたいカテゴリや、ファイル・フォルダーを選択する**

・**バックアップから除外したいファイル・フォルダーを選択する**

・**バックアップに関わる様々な設定を行う**

・**ファイル・フォルダーを元の場所に復元する**

Web管理画面のホーム画面



Web管理画面では以下の内容を実施できます。

・バックアップしたファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する

・世代管理しているファイルを**プレビュー**、復元する

・削除したファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する

・**バックアップしたファイル・フォルダーを共有する**

・**アカウントの設定を変更する**

・**バックアップしたファイル・フォルダーを別のパソコンからダウンロードする**

ホーム：バックアップ待機中

バックアップ待機中の各詳細状況の表示を説明します。

Ⓐ 次回のバックアップ: 1 日 後 今すぐ実行

次回のバックアップが始まる予定時間を表示します。バックアップするファイル（待機中ファイル）がなければ、バックアップは実行しません。待機中ファイルがある場合は**「今すぐ実行」**が表示されます。**「今すぐ実行」**をクリックするとバックアップを実行します。

Ⓑ 前回のバックアップ: 1 分 前

前回のバックアップが完了してからの経過時間を表示します。1時間以内は分単位で、24時間以内の場合は時間単位で、24時間以上は日数単位で表示します。

Ⓒ バックアップした総ファイル: 12 ファイル (114.93 MB)

バックアップ済のファイルの数と容量を表示します。違う場所に保存しているファイルでも内容が全く同じファイル＝重複ファイルと認識した場合は、1か所のファイルだけをバックアップします。

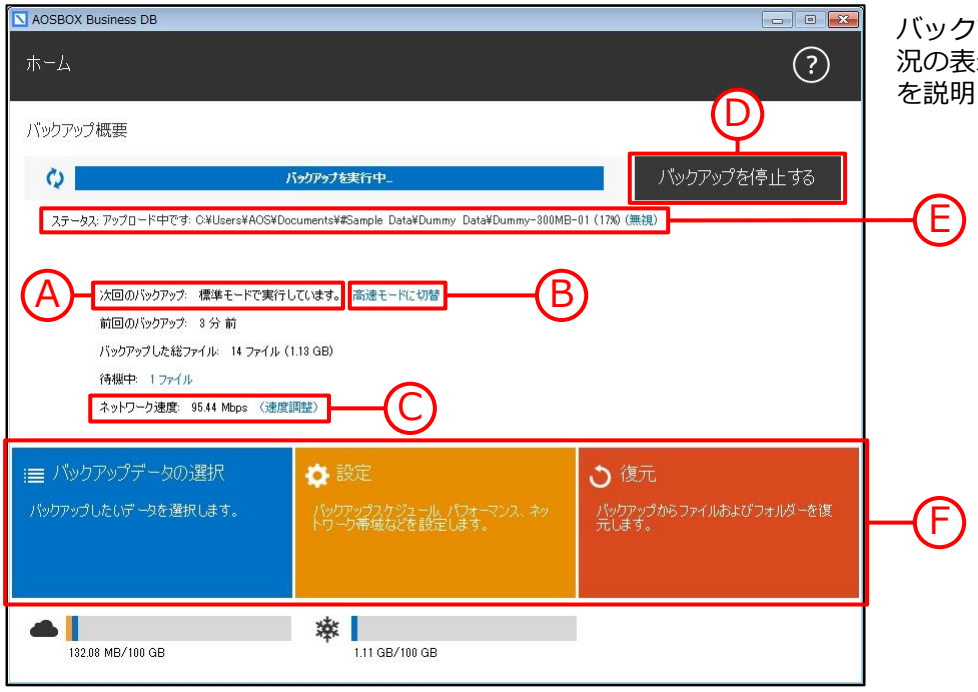
Ⓓ 待機中: 1 ファイル

次回バックアップされる予定のファイルの数を表示します。待機中ファイルがない場合は次回のバックアップの時間になっても、バックアップは実行しません。また、別のプログラムによりロックされているファイルや、頻繁に更新されているファイル等は、バックアップされずに次回のタイミングまで待機状態になっている場合があります。**「XXファイル」**をクリックすると次回バックアップするファイルの一覧を表示します。

Ⓔ

契約容量の内、通常ストレージとコールドストレージのそれぞれのバックアップで使用しているバックアップスペースの容量を表示します。黄色で表示されているのは他のユーザーが使用中の容量です。また、**ポリシーによって使用できないストレージは表示されません。**

ホーム：バックアップ実行中



バックアップ実行中の各詳細状況の表示、基本メニューボタンを説明します。

Ⓐ 次回のバックアップ: 標準モードで実行しています。

バックアップモードを表示します。標準モードと高速モードがあります。バックアップを優先させる場合は「高速モード」で、他の作業を優先させる場合は「標準モード」でご利用ください。

Ⓑ 高速モードに切替

上記の（**「高速モードに切替」**を表示している）場合、**「高速モードに切替」**をクリックすると、高速モードになり表示が**「標準モードに切替」**に変わります。

Ⓒ ネットワーク速度: 95.44 Mbps （速度調整）

バックアップに利用しているネットワークの速度を表示します。**「速度調整」**をクリックすることで、ネットワークの使用帯域を制限することもできます。

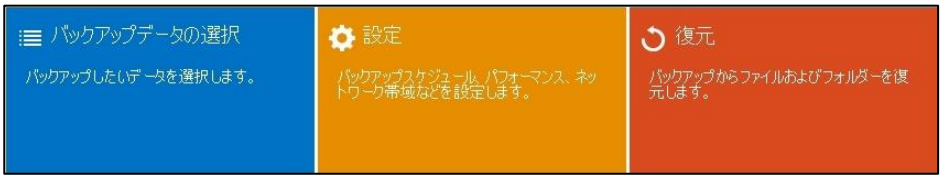
Ⓓ バックアップを停止する

バックアップを停止する時にクリックします。バックアップ実行中の時でも実行していない時でも、クリックして、バックアップを停止することが可能です。

Ⓔ ステータス: アップロード中です: C:¥Users¥AOS¥Documents¥#Sample Data¥Dummy Data¥Dummy-300MB-01 (17%) (無視)

バックアップ実行中のファイルの状態を表示します。

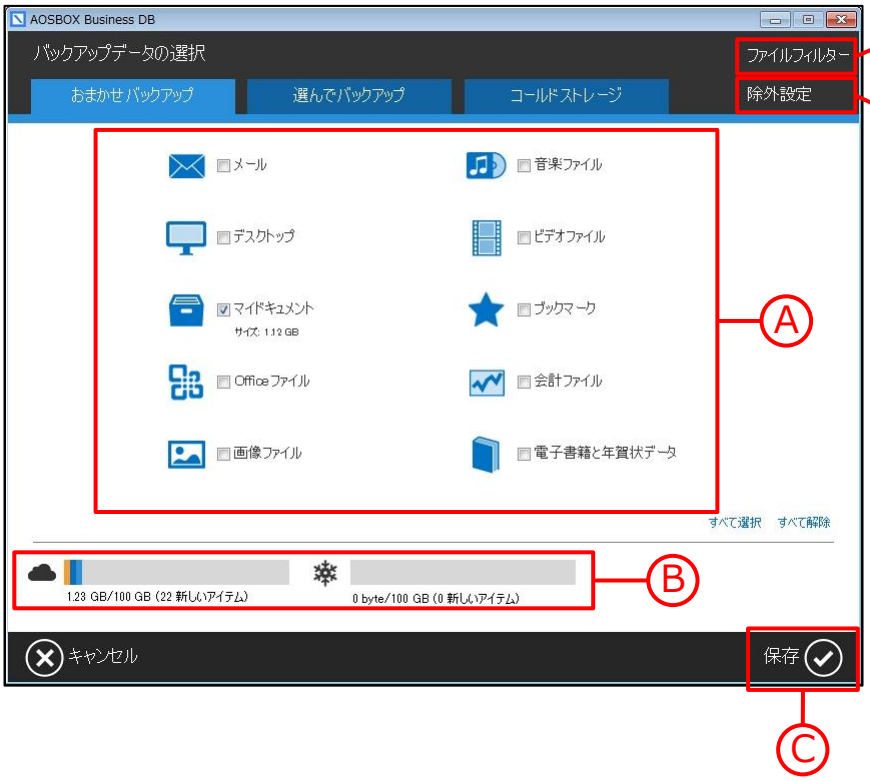
Ⓕ



上記パネルをクリックすると各設定画面に移動します。バックアップするカテゴリやファイル・フォルダーを選択したい場合は青いパネルを、バックアップスケジュールや、バックアップの環境を設定する場合は黄色いパネルを、バックアップしたデータを復元したい場合は赤いパネルをクリックしてください。

バックアップデータの選択：おまかせバックアップ

「おまかせバックアップ」は、**通常ストレージのみ**に適用されます。写真、音楽など各カテゴリーごとにまとめてバックアップしたい場合に使用します。



※P13参照

※P21参照

ちょっとメモ

他のバックアップソフトの多くは、ファイル・フォルダーを自ら選択しなければなりません。そのため、新しく追加したファイルをバックアップの対象にし忘れることがありました。
「AOSBOX」ではカテゴリーを選べば、対象ファイルは自動的にバックアップ対象になるので、バックアップをし忘れることがなくなります。

Ⓐ バックアップするカテゴリーを選択します。カテゴリー毎のバックアップするファイルの仕様は「6．動作環境と注意事項」の「バックアップ対象ファイル」をご確認ください。

Ⓑ

バックアップ可能な総容量の中で、既にバックアップで使用している容量を青色、上記画面で新たにチェックを入れた対象をバックアップするために必要な容量を水色で表示します。

Ⓒ バックアップしたい項目へのチェックが入れ終わったら**「保存」**をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

バックアップデータの選択：選んでバックアップ

「選んでバックアップ」は、**通常ストレージのみ**に適用されます。任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップしたい場合に使用します。

※P13参照

※P21参照

Ⓐ ツリーウィンドウに表示されているフォルダーを展開して、バックアップしたいファイルが格納されているフォルダーを選択します。

Ⓑ リストウィンドウに表示されたファイルのうち、バックアップしたいものにチェックを入れます。

Ⓒ バックアップしたい項目にチェックが入れ終わりましたら**「保存」**をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

※ツリーウィンドウ、リストウィンドウで任意のフォルダーにチェックを入れると、そのフォルダーに格納されているすべてのファイル・フォルダーにチェックが入ります。

バックアップデータの選択：コールドストレージ

「コールドストレージ」は、**コールドストレージのみ**に適用されます。任意のファイル・フォルダーを個別に選択してコールドストレージにバックアップしたい場合に使用します。

※P13参照

※P21参照

Ⓐ ここでバックアップしたいファイル・フォルダーおよびカテゴリーの追加、削除を行います。

Ⓑ 追加したファイル・フォルダーが表示されています。

Ⓒ

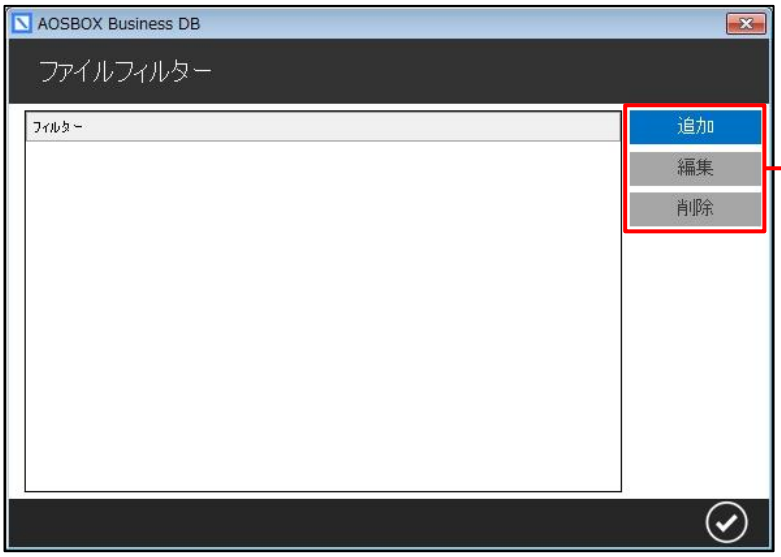
バックアップスペース中のバックアップで使用している容量と、上記で追加したファイル・フォルダーをバックアップするために必要な容量を表示します。左記の場合、元々使用している容量を青色、追加のバックアップで必要な容量を水色で表しています。

Ⓓ バックアップしたい項目の追加が終わりましたら**「保存」**をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

コールドストレージの場合、復元が開始可能になるまで3～5時間の時間を要します。開始後は通常ストレージと同様の速度で復元を行います。バックアップのアップロード時の速度については、通常ストレージと同様です。

バックアップデータの選択：ファイルフィルター

バックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。

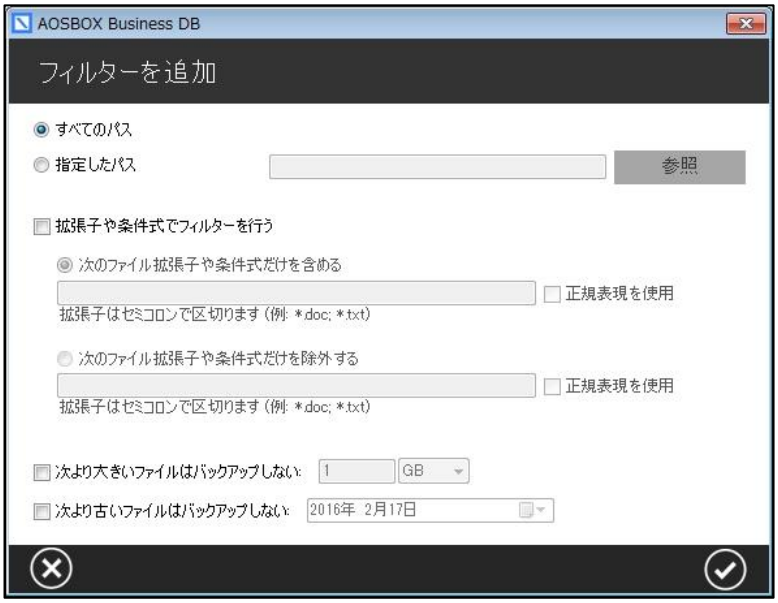


Ⓐ

「追加」：
条件設定画面に移ります。（次画面）

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。



最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
ファイル・フォルダーの場所に関わらずバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

上記のどちらかを設定したら**「拡張子や条件式でフィルターを行う」**にチェックを入れ、以下の項目を設定します。

※フィルター設定する場合は、何れかのバックアップで、ファイルをバックアップ対象にしている必要があります。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次より大きいファイルはバックアップしない」：
ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

「次より古いファイルはバックアップしない」：
更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

設定：スケジュール

ホーム画面で**「設定」**をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。最初に**「スケジュール」**の設定画面について説明します。ここでは、バックアップスケジュールの設定を行います。

「等間隔でバックアップする」：
設定した時間間隔でバックアップを実行します。

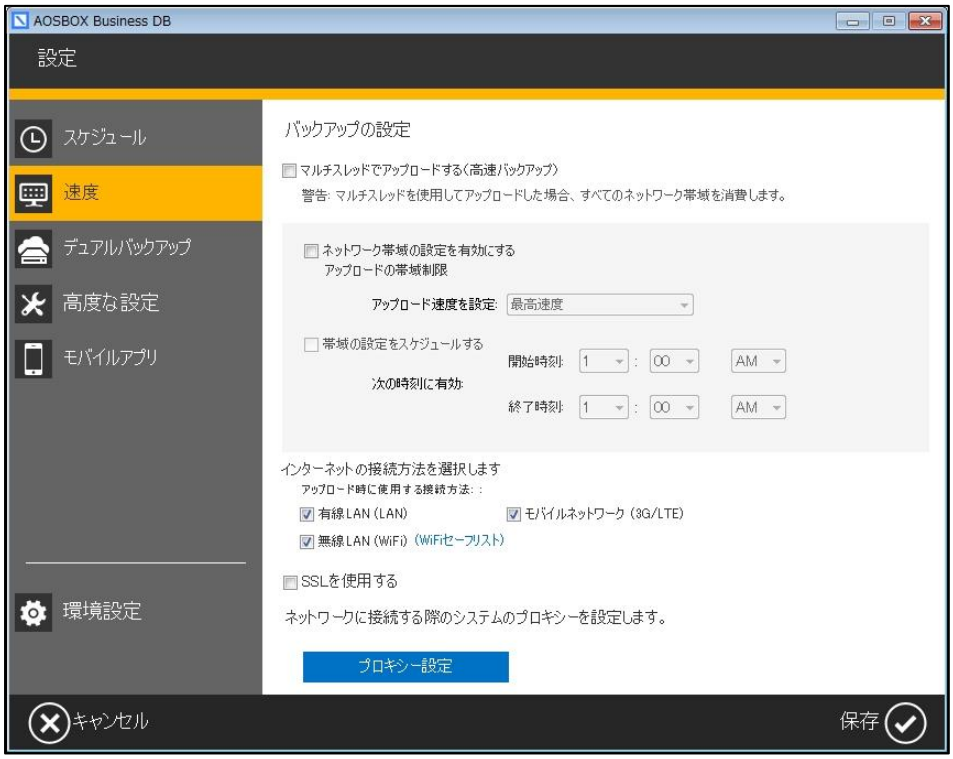
「バックアップデータ整合性チェックの実行間隔」：
バックアップ対象になっているファイル・フォルダーの中で、バックアップ漏れがないかをスキャンするタイミングを設定します。

「スケジュールを設定する」：
設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

バックアップスケジュールは、「等間隔」もしくは「一定の時刻」のどちらかを選択できます。等間隔でバックアップする時は、**「等間隔でバックアップする」**にチェックを入れ、一定の時刻を設定する時は**「スケジュールを設定する」**にチェックを入れ、日時の入力を行ってください。

設定：速度

次に**「速度」**の設定画面について説明します。ここでは、ネットワーク帯域の設定やアプリの動作設定を行います。



「マルチスレッドでアップロードする（高速バックアップ）」：
アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。すべてのネットワーク帯域を消費するため、通常はチェックを外しておいてください。

「ネットワーク帯域の設定を有効にする」：
このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「帯域の設定をスケジュールする」：
このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になる様に設定することができます。

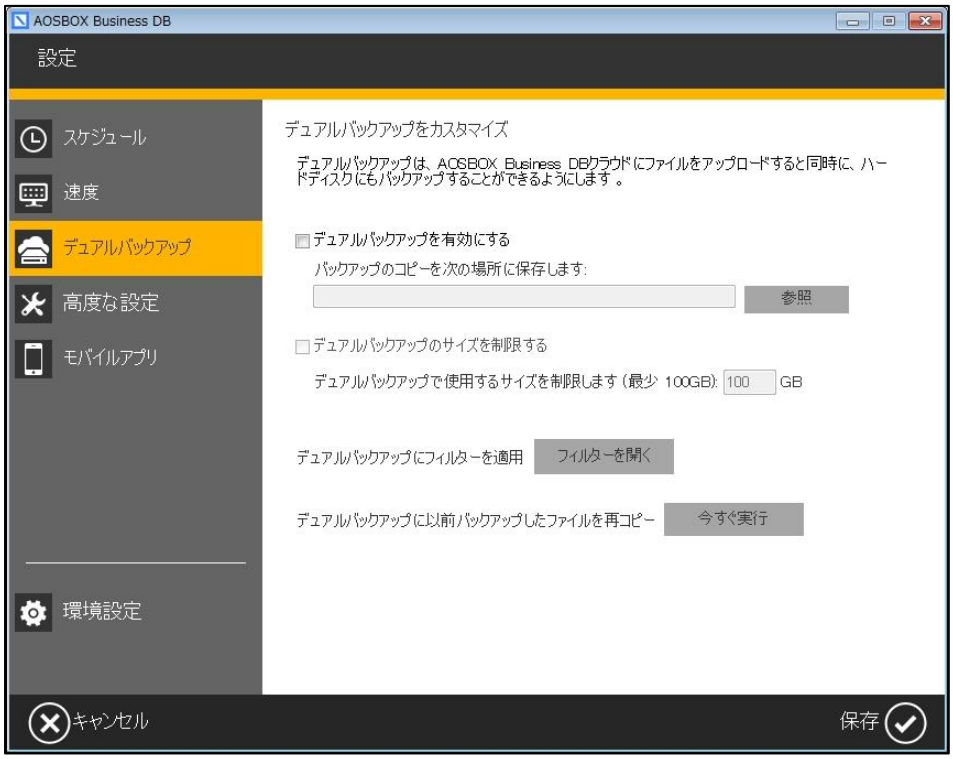
「インターネットの接続方法を選択します」：
バックアップを行うタイミングを「有線LAN」「無線LAN」「モバイルネットワーク」の接続方法の中から選択して、制限することができます。さらに「無線LAN」では、WiFiセーフリストを設定して接続先を限定することができます。

「SSLを使用する」：
データを暗号化して通信したい場合にチェックを入れます。

「プロキシー設定」：
お使いのOSのインターネットのプロパティ設定画面が起動します。

設定：デュアルバックアップ

次に**「デュアルバックアップ」**の設定画面について説明します。ここでは、クラウドへバックアップしたものと同じバックアップをローカル上のドライブにも取る場合の設定を行います。



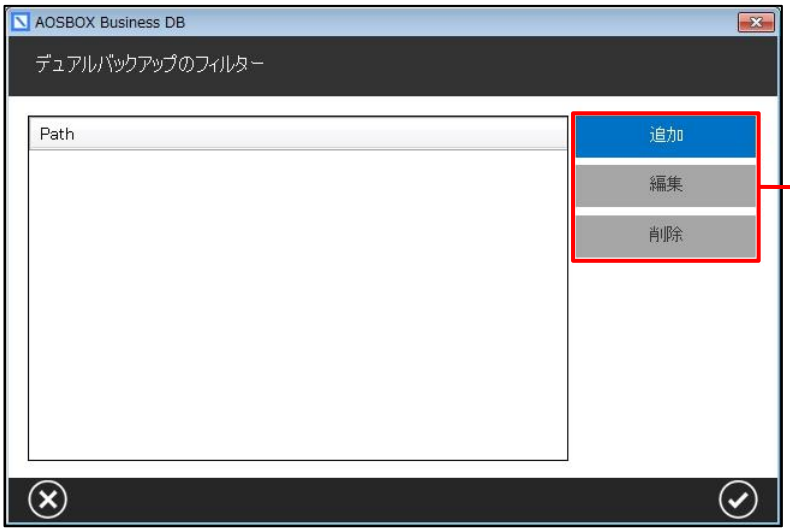
「デュアルバックアップを有効にする」：
このチェックを入れると、デュアルバックアップが有効になります。**「参照」**をクリックしてドライブにバックアップする場所を指定してください。

「デュアルバックアップのサイズを制限する」：
このチェックを入れると、ドライブにバックアップするサイズを制限することができます。最小100GBから指定する事ができます。

「デュアルバックアップにフィルターを適用」：
次ページをご参照ください。

「デュアルバックアップに以前バックアップしたファイルを再コピー」：
「今すぐ実行」をクリックするとデュアルバックアップを開始する以前にAOSBOXクラウドへバックアップしていたデータを、デュアルバックアップに含めることができます。

デュアルバックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。



「追加」：
条件設定画面に移ります。（次画面）

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。

最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
ファイル・フォルダーの場所に関わらずデュアルバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

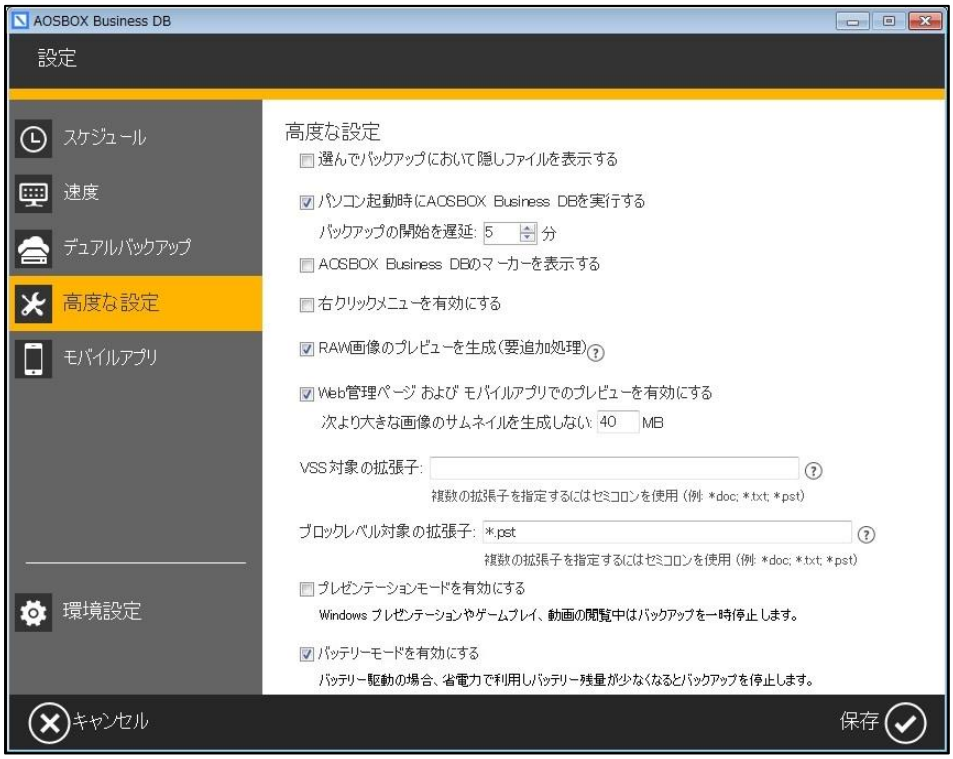
上記のどちらかを設定したら、以下の項目を設定します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

設定：高度な設定

次に**「高度な設定」**の設定画面について説明します。ここでは、各種詳細な設定を行います。



「選んでバックアップにおいて隠しファイルを表示する」：
「選んでバックアップ」で隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「パソコン起動時にAOSBOX Business DBを実行する」：
パソコンの起動と同時にAOSBOX Business DBも起動します。通常はチェックを入れておいてください。また、バックアップ開始のタイミングを指定して遅らせることができます。

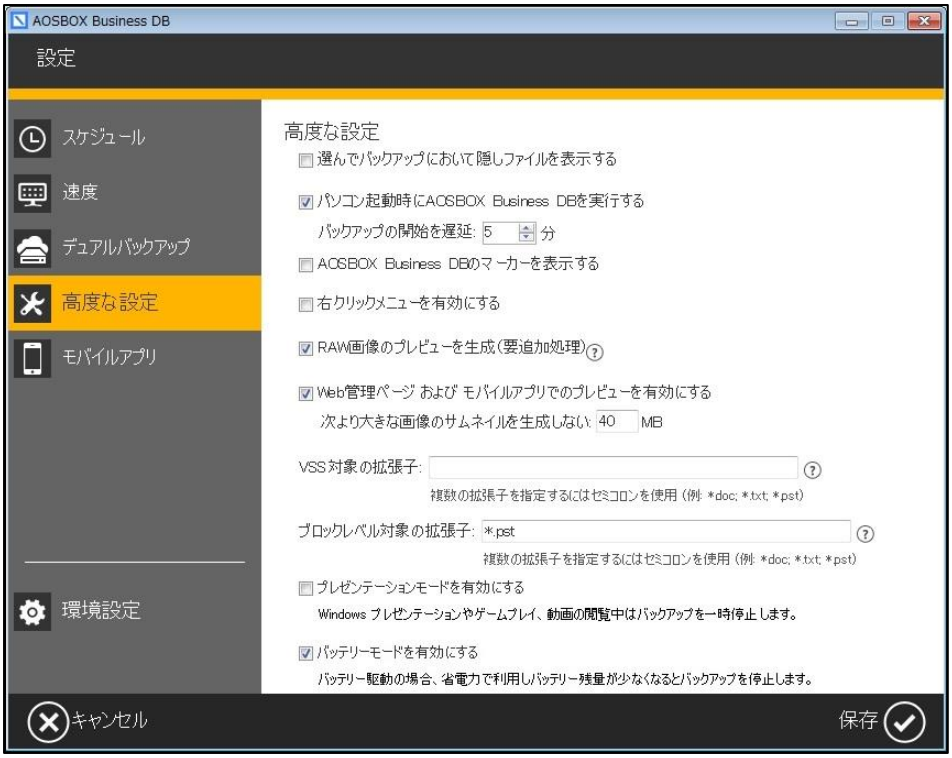
「AOSBOX Business DBのマーカーを表示する」：
バックアップファイルのアイコンに、状況に応じたバックアップマーカーを表示します。通常はチェックを入れておいてください。

「右クリックメニューを有効にする」：
ファイル・フォルダーにカーソルを合わせて、右クリックからバックアップ対象にすることができます。通常はチェックを入れておいてください。

「RAW画像のプレビューを生成（要追加処理）」：
サムネイルを生成して、Web管理画面上でRAW画像をプレビュー表示できるようにします。

「Web管理ページおよびモバイルアプリでのプレビューを有効にする」：
Web管理画面およびモバイルアプリ上で音楽、ビデオ、画像をプレビューできるようにします。また、サイズを指定してより大きなファイルのプレビューは制限をかけることもできます。

設定：高度な設定



「VSS対象の拡張子」：
拡張子を指定することで、開いているファイルやロック中のファイルが存在していてもバックアップ処理を可能にします。

「ブロックレベル対象の拡張子」：
ファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間と容量を軽減することができます。

「プレゼンテーションモードを有効にする」：
プレゼンテーション、ゲームプレイ、動画閲覧などの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「バッテリーモードを有効にする」：
バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

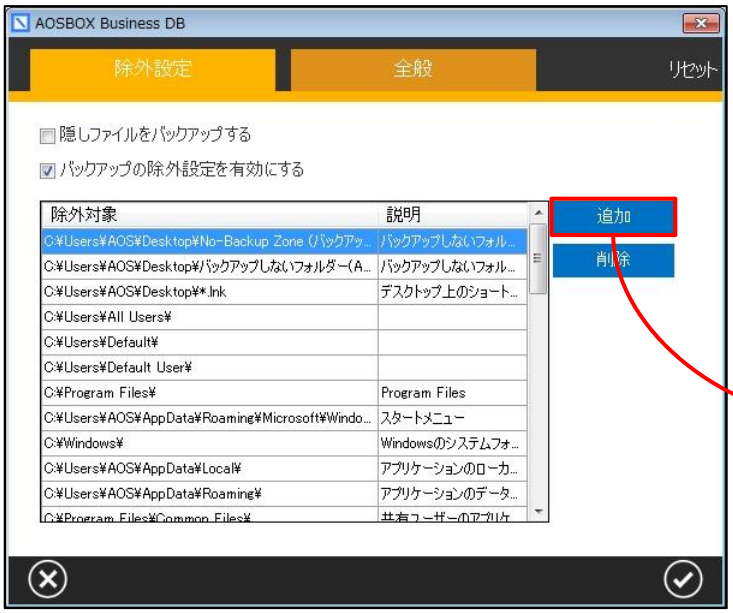
設定：モバイルアプリ

次に**「モバイルアプリ」**の設定画面について説明します。ここでは、AOSBOX Business DB Viewerのダウンロードを行います。AOSBOX Business DB Viewerは、パソコン用のAOSBOX Business DBでバックアップしたファイルを閲覧、管理するためのアプリです。

「AOSBOX Business DB Viewerをダウンロード」：
AOSBOX Business DB Viewerのダウンロードページへ進みます。

設定：環境設定

次に**「環境設定」**の設定画面について説明します。ここでは、バックアップ対象の除外や、ログファイル取得についての設定を行います。



「隠しファイルをバックアップする」：
隠しファイルをバックアップ対象にする場合にチェックを入れます。

「バックアップの除外設定を有効にする」：
バックアップしたくないフォルダーのパスを指定して、バックアップ対象から除外する場合にチェックを入れます。

「追加」をクリックすると右のウィンドウが表示されるので、**「除外対象」**ボックスに除外したいフォルダーのパスを入力して**「追加」**をクリックします。また、必要であれば**「説明」**ボックスにわかりやすい説明を記入します。

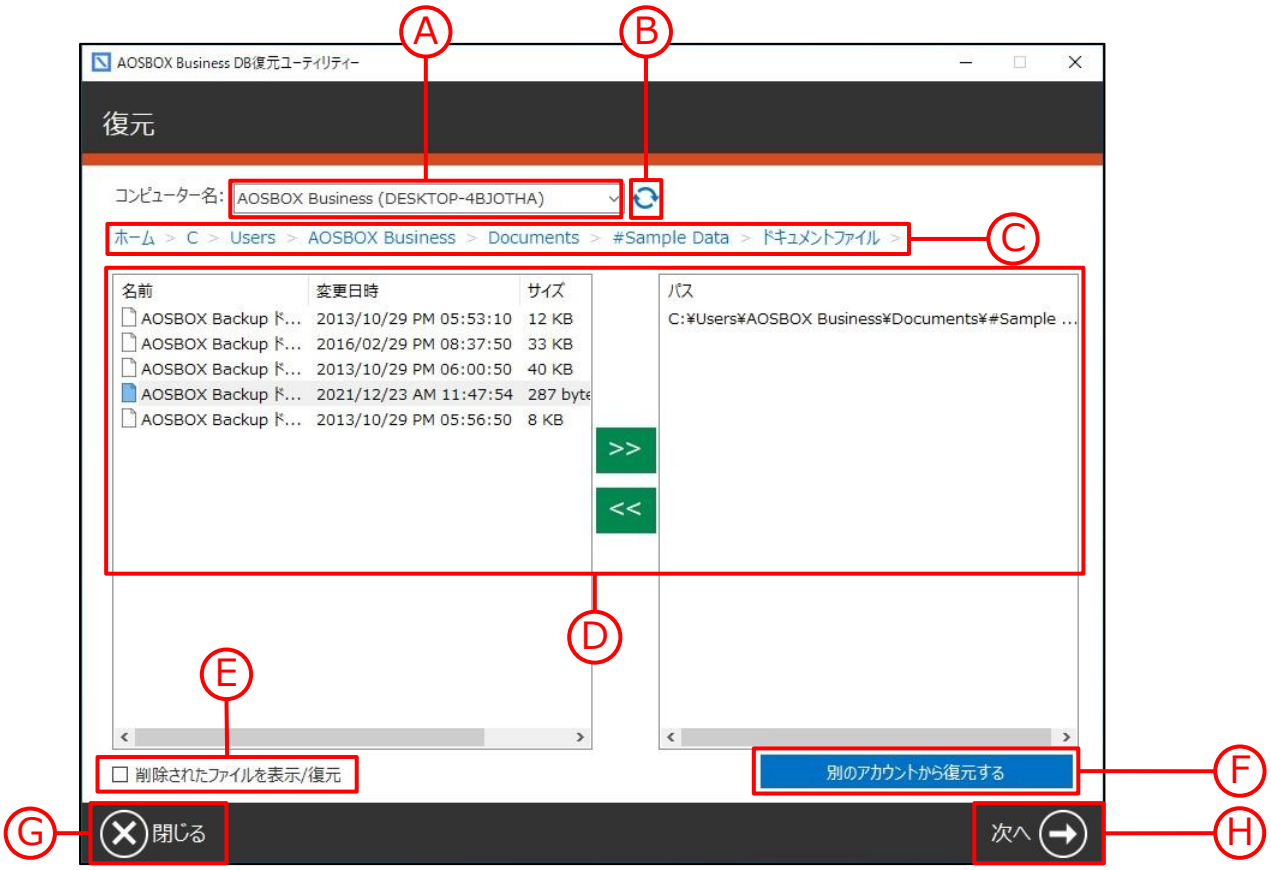
※ここでは、ファイルを指定しての除外はできません。ファイル単位での除外設定が必要な場合は「バックアップデータの選択」内の「ファイルフィルター」で設定してください。

「ログファイルを取得する」：
AOSBOX Business DBの動作履歴を取得したい場合にチェックを入れます。**「ログを開く」**をクリックすると、ログファイルの保存場所を参照できます。

「キャッシュドライブを変更」：
AOSBOX Business DBのキャッシュファイルを保存するドライブを変更できます。空き容量が2GB以上でNTFSフォーマットのドライブを選択してください。

復元

ホーム画面で**「復元」**をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



Ⓐ バックアップしているコンピューターの名前を表示しています。

Ⓑ 表示している内容を最新の情報に更新します。

Ⓒ 下のウィンドウに表示しているファイルの保存場所（フォルダー）を表示しています。各フォルダー名をクリックすることにより、フォルダー内容を参照することができます。

Ⓓ 左ウィンドウにバックアップしているファイル・フォルダーの一覧を表示しています。中央の緑の「>>」ボタンを操作して、復元したいファイル・フォルダーを右ウィンドウに移動します。

Ⓔ チェックを入れると、コンピューターから削除されたファイル・フォルダーを表示します。

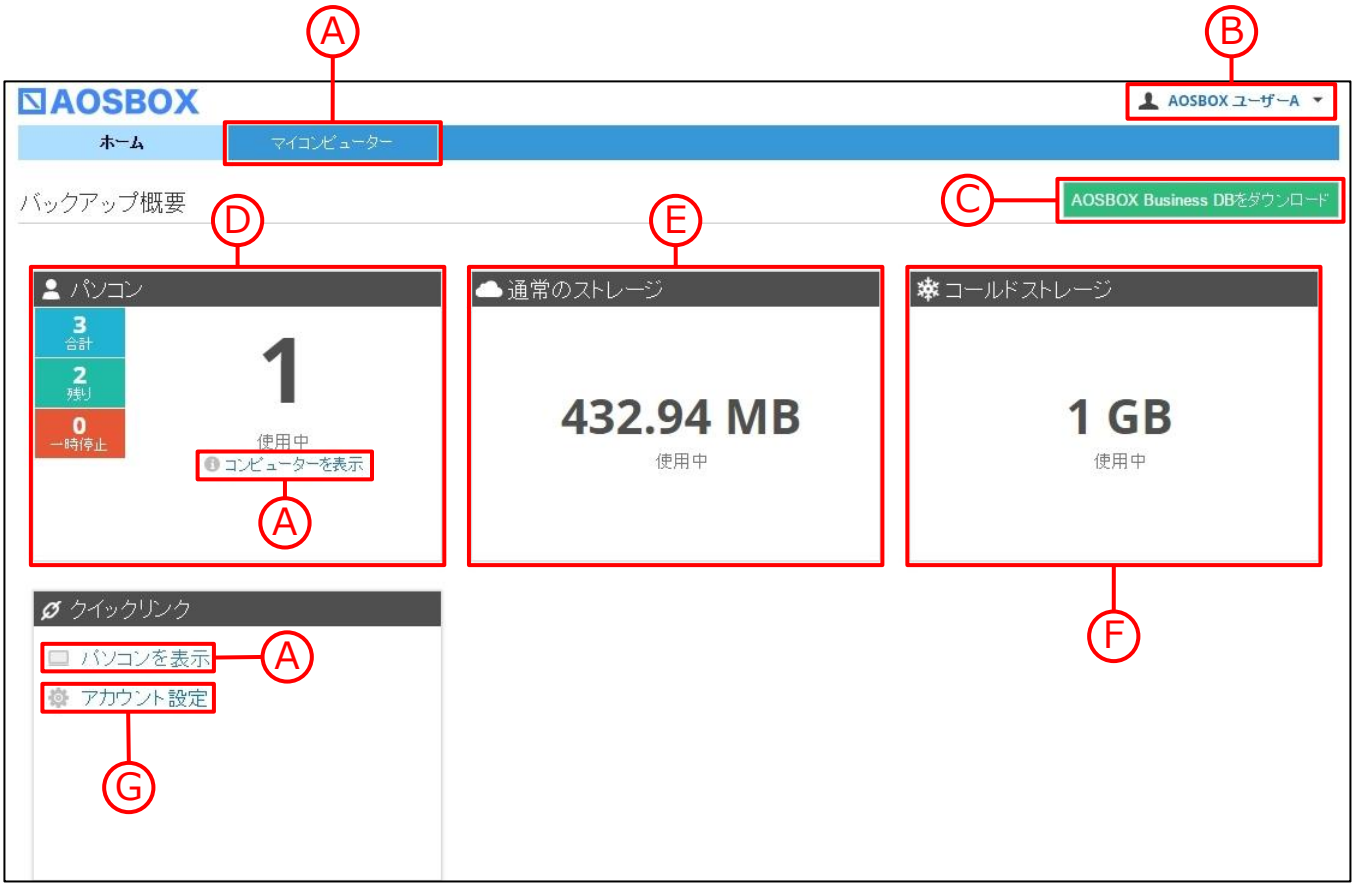
Ⓕ 別のアカウント（例：別のコンピューターでバックアップしたデータ）から復元したい場合に、使用するボタンです。

Ⓖ このウィンドウを閉じます。

Ⓗ 復元の詳細手順へ進みます。詳しくは「４．復元」の解説をご参照ください。

ホーム

この画面では、使用中のコンピューター、ストレージ使用量等、AOSBOXを使用するにあたって基本的な情報を表示しています。



Ⓐ 「マイコンピューター」へ移動します。

Ⓑ 現在ログインしているアカウントを表示しています。ここからアカウント設定、ログアウトが可能です。

Ⓒ AOSBOX Business DBクライアントプログラムをダウンロードします。

Ⓓ このアカウントで使用中のパソコン台数を表示しています。

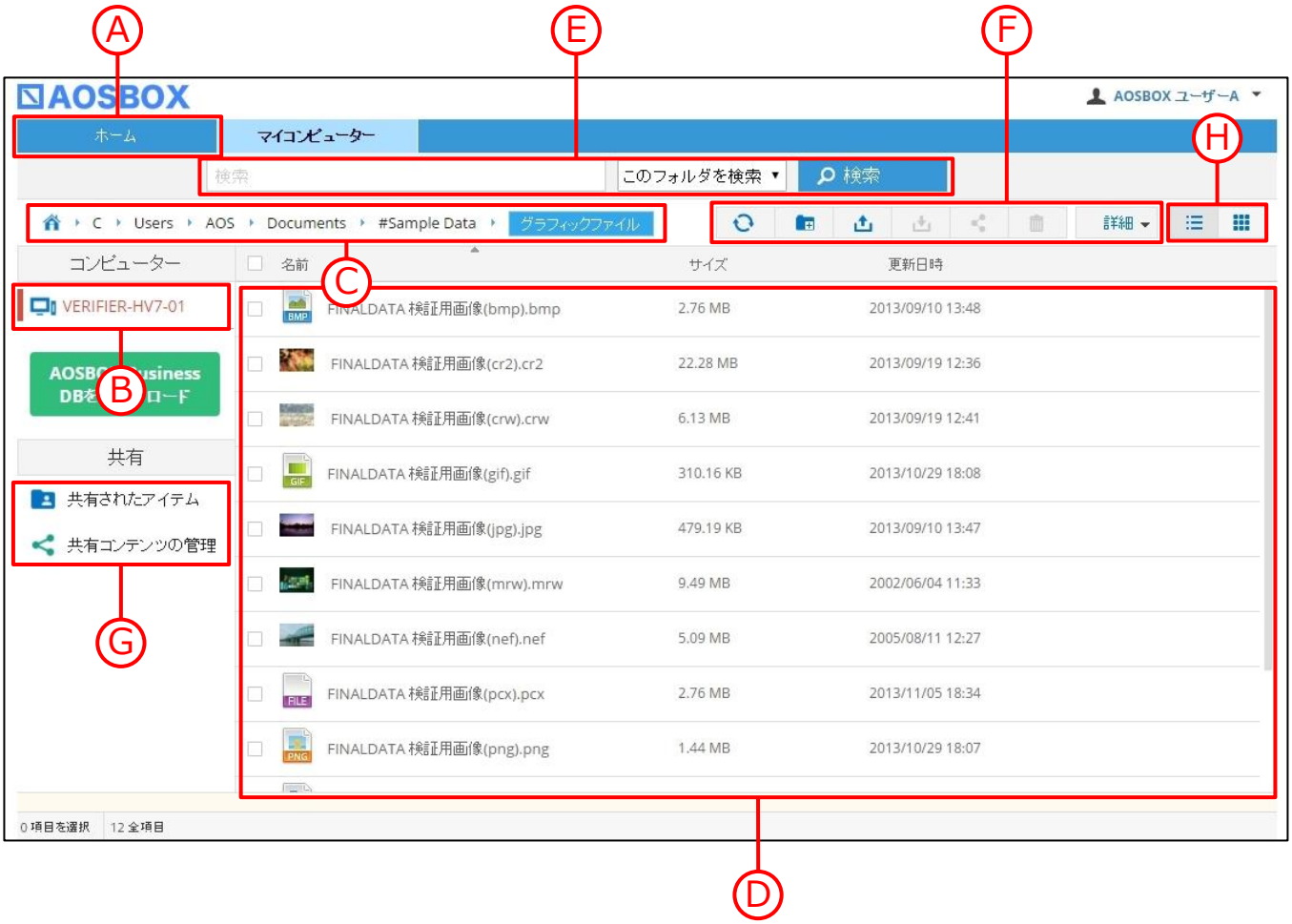
Ⓔ ご使用中の通常ストレージの容量を表示しています。

Ⓕ ご使用中のコールドストレージの容量を表示しています。

Ⓖ 「アカウント設定」へ移動します。

マイコンピューター

この画面では、バックアップしているファイル・フォルダーの詳細を表示します。また、この画面上でファイル・フォルダーのアップロード、ダウンロードを行うことができます。



Ⓐ 「ホーム」へ移動します。

Ⓑ 現在参照しているコンピューターの名前を表示します。

Ⓒ 現在参照しているパスを表示します。

Ⓓ 現在参照しているフォルダーの内容詳細を表示します。

Ⓔ プルダウンから「このフォルダを検索」、「すべて検索」を選択して任意のファイル・フォルダーを検索します。

Ⓕ 次ページ以降をご参照ください。

Ⓖ 共有についてのメニューです。詳しくは「５．その他機能」の解説をご参照ください。

Ⓗ ファイル・フォルダーの表示形式をリスト形式/アイコン形式に切り換えます。

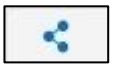
Ⓕ 項目別に以下をご参照ください。

：画面の再読込み（更新）を行います。

：現在参照しているフォルダー内に新しいフォルダーを作成します。

：現在参照しているフォルダー内に任意のファイルをアップロードします。（詳細はP40へ）

：現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーをダウンロードします。
（詳細はP32以降へ）

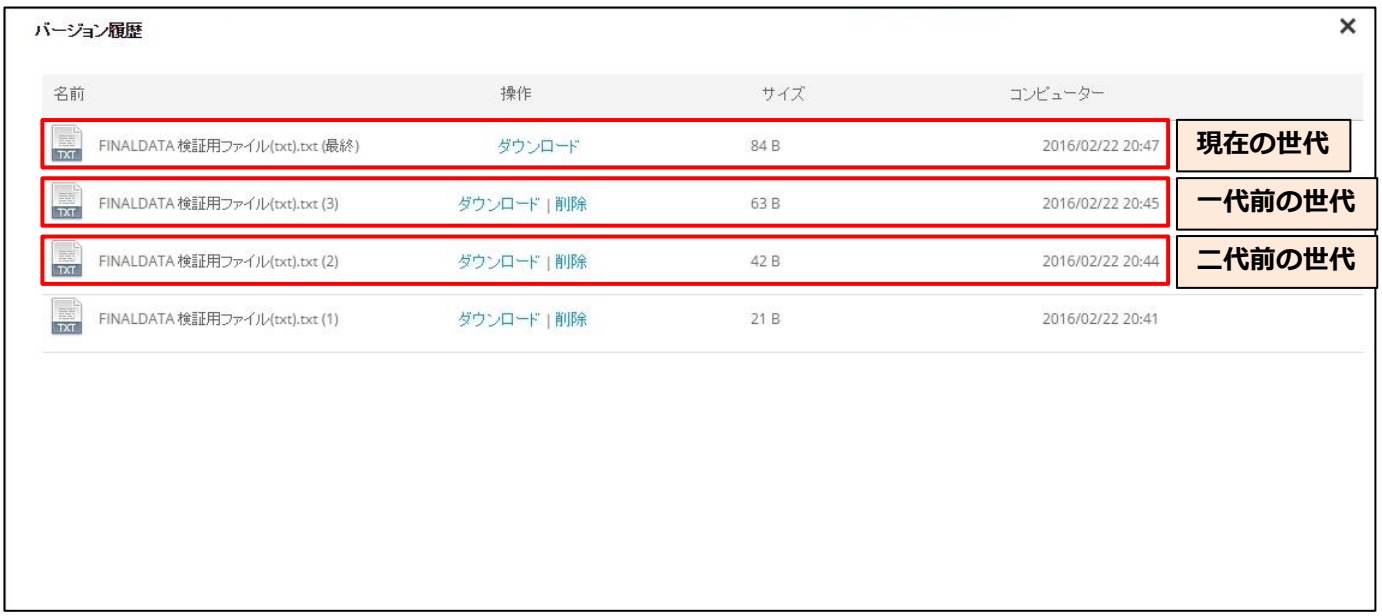


：現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーを共有します。
（詳細はP36以降へ）

：現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーを削除します。

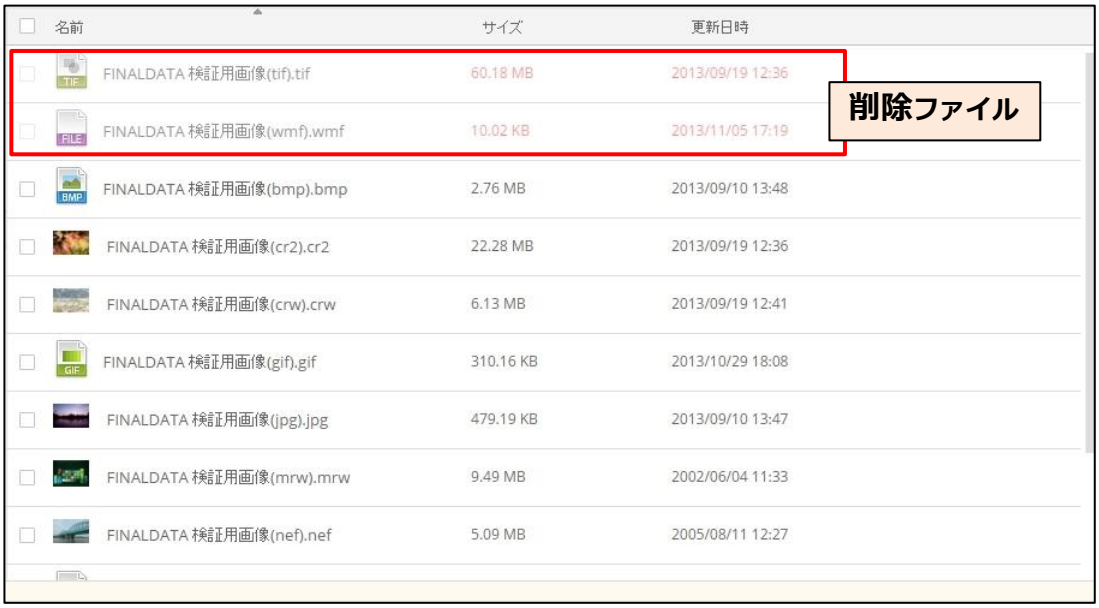
「詳細」をクリックすると、以下の拡張メニューを表示します。

：バックアップしたファイルのバージョン履歴を一覧で表示します。以下の図の様に、バックアップした世代別でダウンロードすることができます。



削除したファイルを表示

：バックアップ後にパソコン上から削除したファイル・フォルダーの(表示/隠す)を行います。削除したファイル・フォルダーは、以下の図の様に薄い赤字で表示されます。これらの削除ファイルは、通常ファイルと同様に復元が可能です。



リモート復元

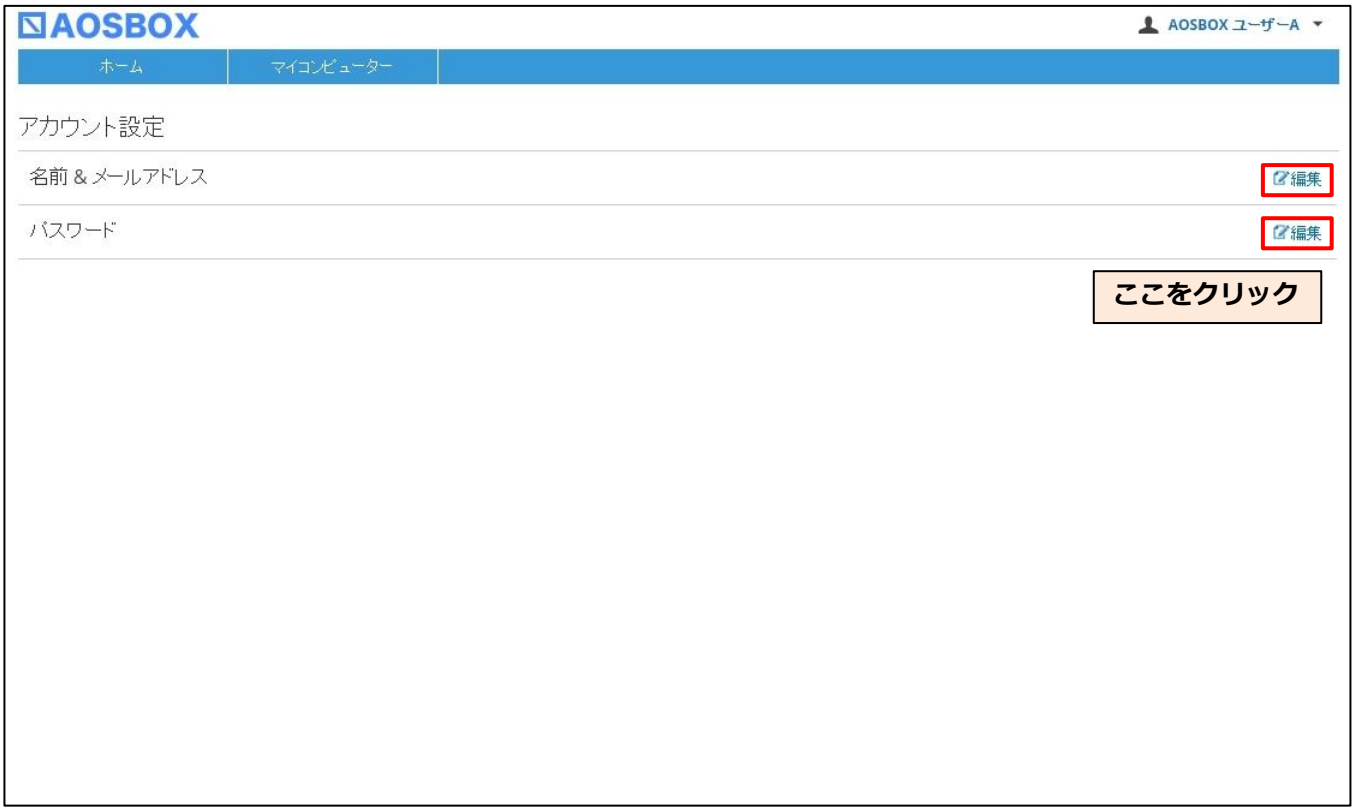
：現在参照しているフォルダー内から任意のファイル・フォルダーをリモート操作によりアプリから復元します。（詳細はP34以降へ）

キーボードショートカット

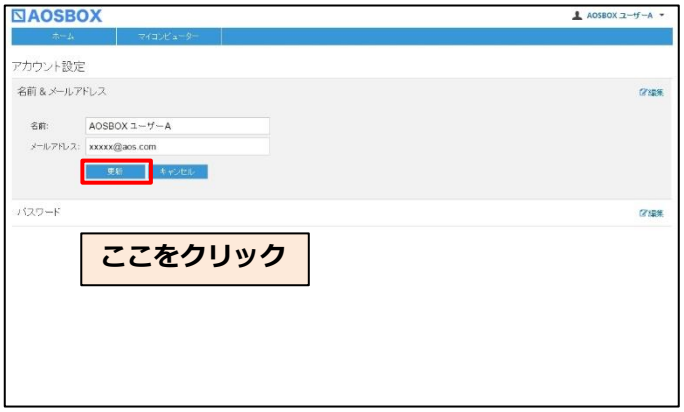
：キーボードショートカットの一覧を表示します。

アカウント設定

この画面では、名前、メールアドレス、パスワードの更新を行うことができます。それぞれ変更したい項目の「編集」をクリックします。



名前、メールアドレスの更新



変更したい項目を入力して、「更新」をクリックします。

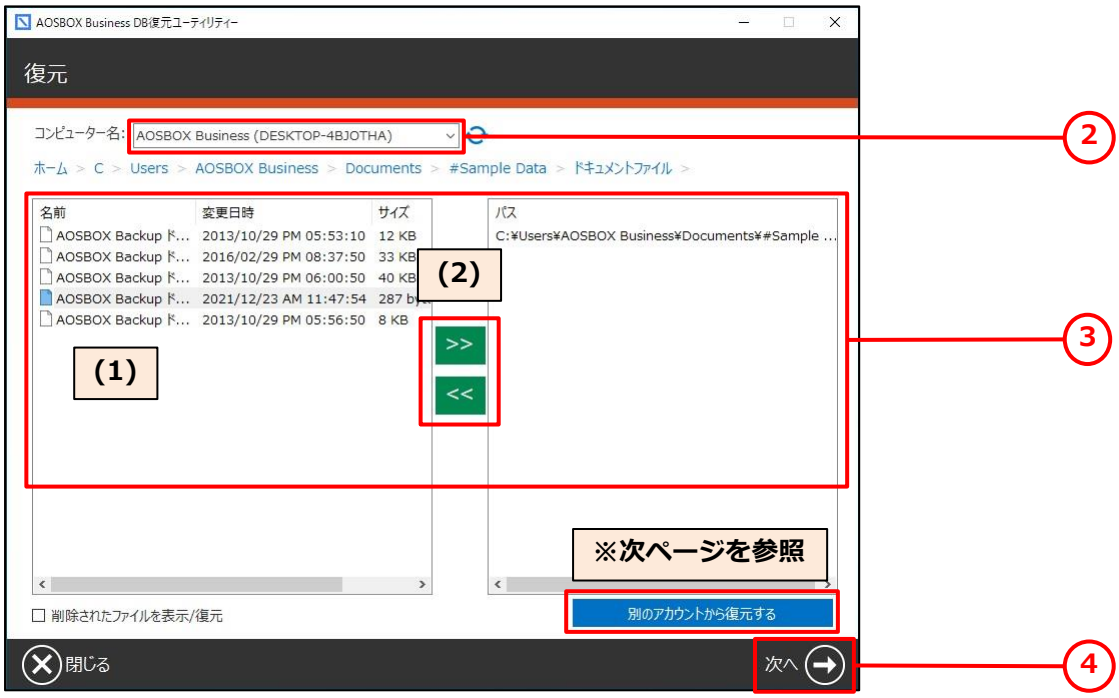
パスワードの変更

「今までのパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」すべてを入力して、「パスワードを変更」をクリックします。

アプリからの復元

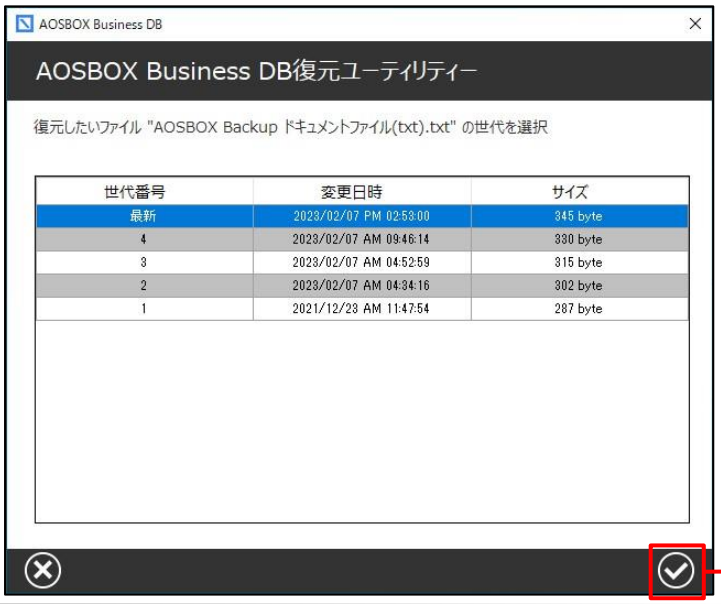
アプリからバックアップデータを復元する方法を説明します。
※コールドストレージの場合、復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。開始後は通常ストレージと同様の速度で復元を行います。

① AOSBOX Business DBを起動してホーム画面で**「復元」**をクリックし、以下のウィンドウを表示します。



② 復元したいデータがあるコンピューターを、プルダウンメニューから選択します。

③ (1)左ウィンドウ内のフォルダーアイコンをクリックして、復元したいファイル・フォルダーを選択 →
(2)中央の緑の**「>>」**ボタンを操作して、復元したいファイル・フォルダーを右ウィンドウに移動します。
※対象は複数選択する事が可能ですが、通常ストレージ、コールドストレージ両方のファイルを同時に復元することはできません。



各ファイルの「(世代の表示)」をクリックすると左図ウィンドウが表示され、復元したい世代を選択することもできます。
※世代を選択した場合は、一度に復元できる対象は1ファイルのみとなります。

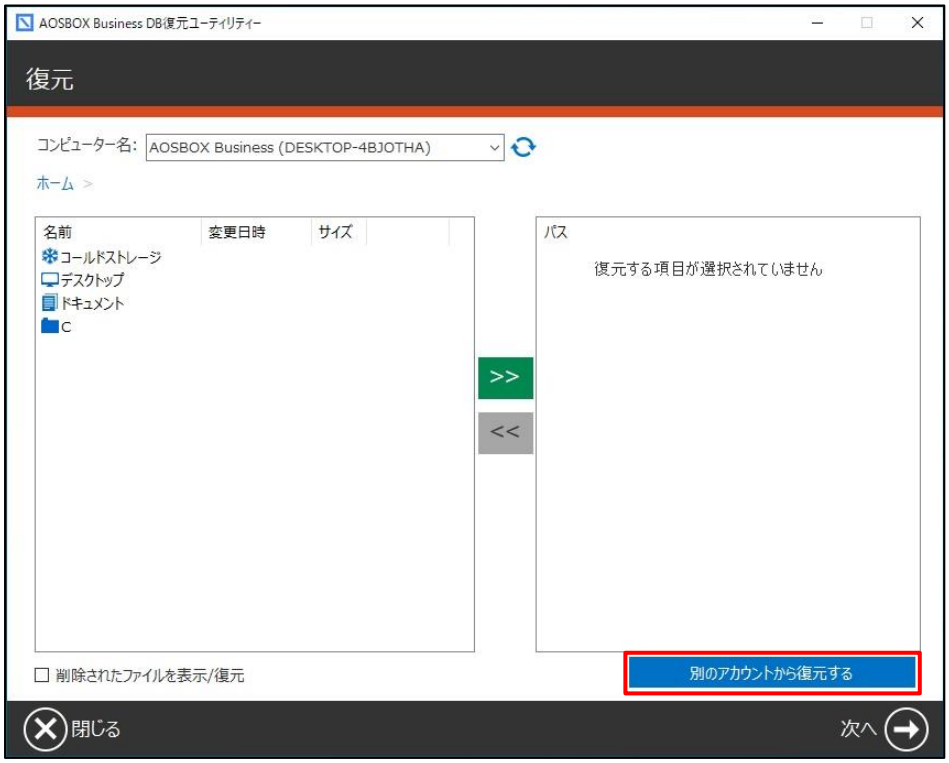
④

上図の**「次へ」**をクリックします。世代を選択した場合は、左図の**「✓」**をクリックします。

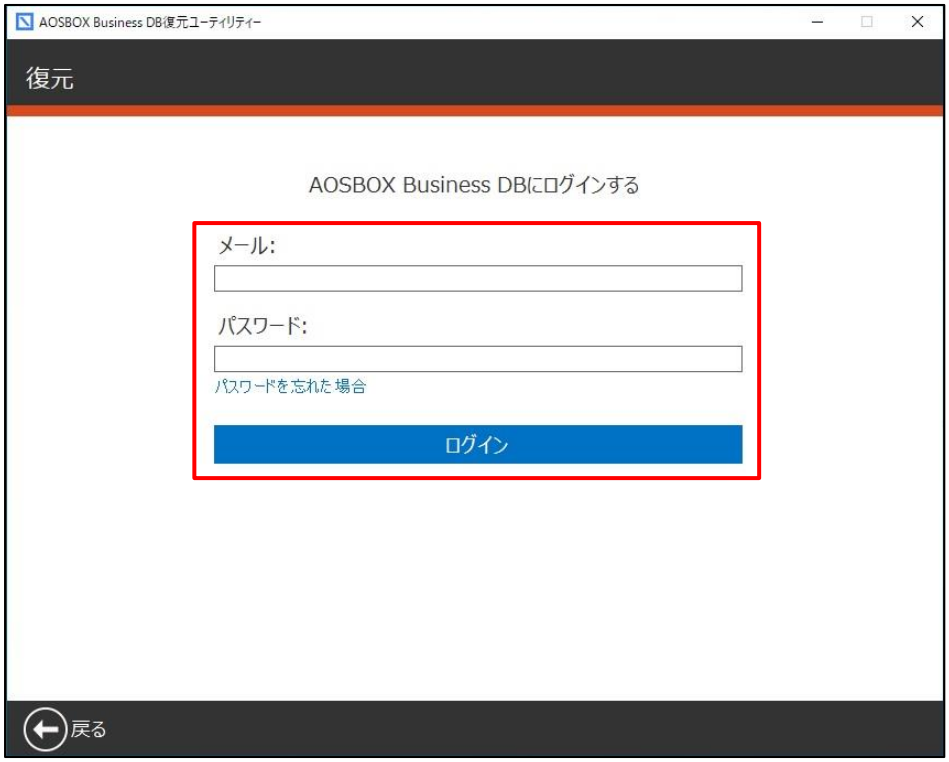
世代を選択した場合

アプリからの復元

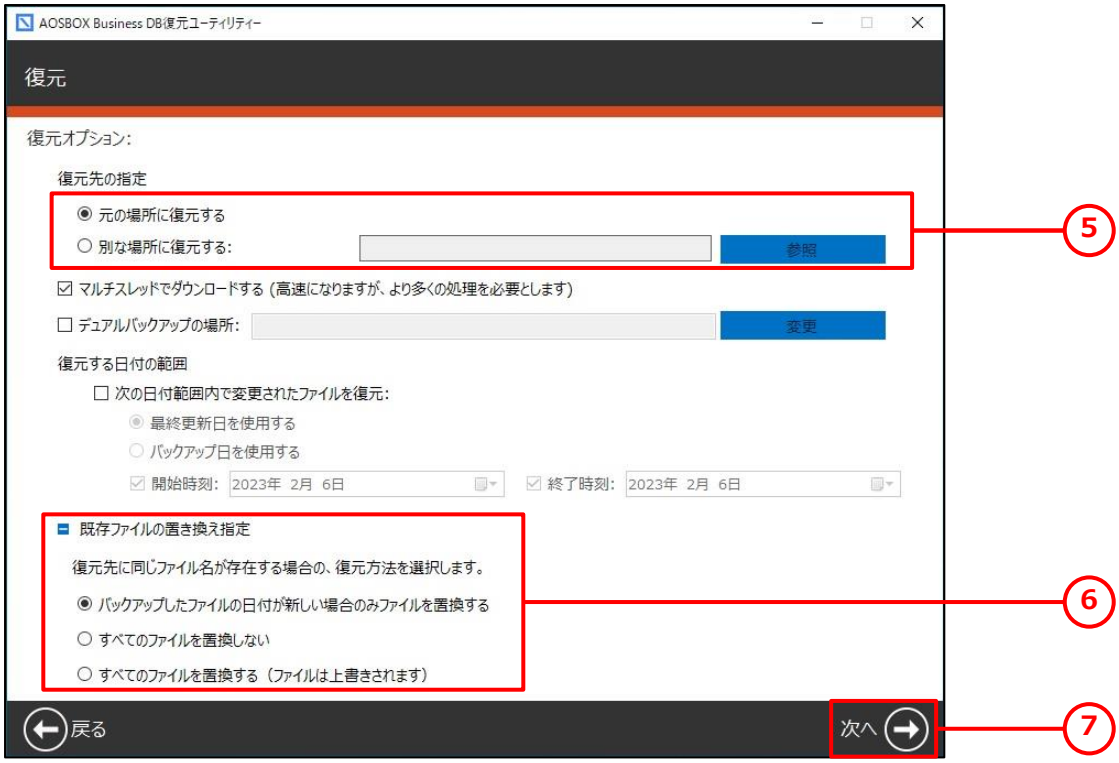
「別のアカウントから復元する」をクリックして、現在のコンピューターに登録しているアカウントとは別のアカウントから復元を行うことも可能です。



復元したいデータがあるアカウントの情報を入力します。以降の手順は通常の復元と同じです。



アプリからの復元



⑤ ファイル・フォルダーを復元する場所を選択します。別の場所に復元する場合は、**「参照」**をクリックして保存場所を指定します。

マルチスレッドでダウンロードする：ダウンロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。通常はチェックを外しておいてください。

デュアルバックアップの場所：デュアルバックアップを設定している場合、ここにアドレスが表示されます。

復元する日付の範囲：チェックを入れ、**「最終更新日を使用する / バックアップ日を使用する」**のどちらかを選択して開始時刻と終了時刻を設定すると、条件に基づいて復元範囲を限定することができます。

⑥ 復元先でファイル・フォルダーが重複した場合の処理を選択します。

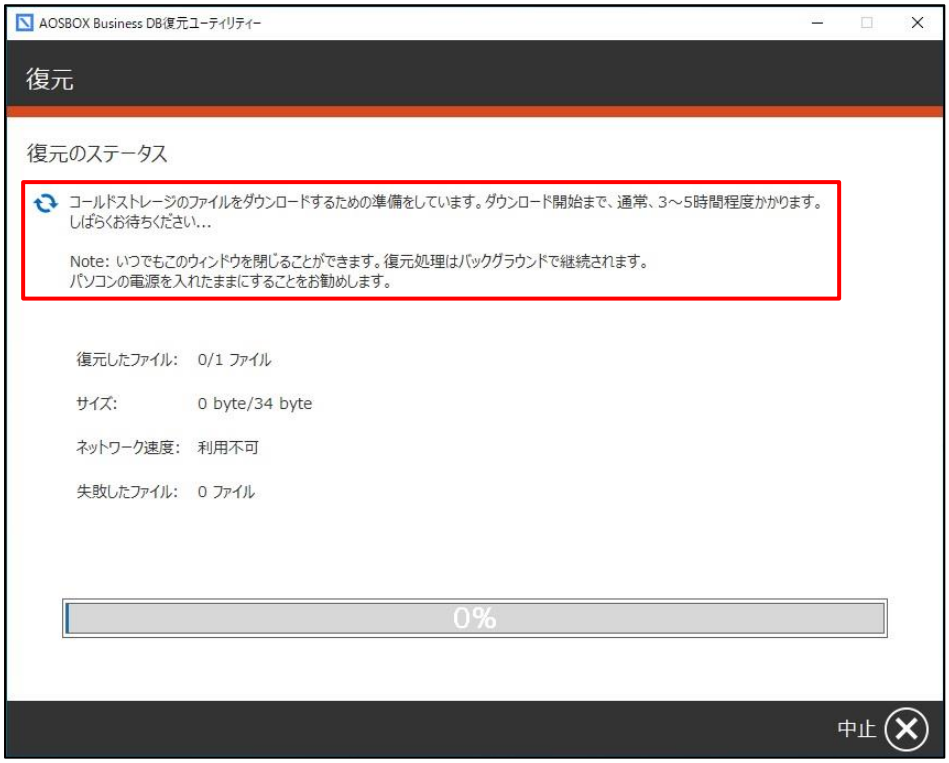
「バックアップしたファイルの日付が新しい場合のみ、ファイルを置換する」
→復元しようとしているファイルとコンピューター上のファイルを比較して、復元しようとしているファイルの方が新しい場合のみ、新しいファイルでコンピューター上のファイルを上書きします。

「すべてのファイルを置換しない」
→復元しようとしているファイルとコンピューター上のファイルが重複した場合、そのファイルは復元しません。

「すべてのファイルを置換する（ファイルは上書きされます）」
→復元しようとしているファイルとコンピューター上のファイルが重複した場合、ファイルの新旧にかかわらずクラウドでバックアップしていたファイルでコンピューター上のファイルを上書きします。

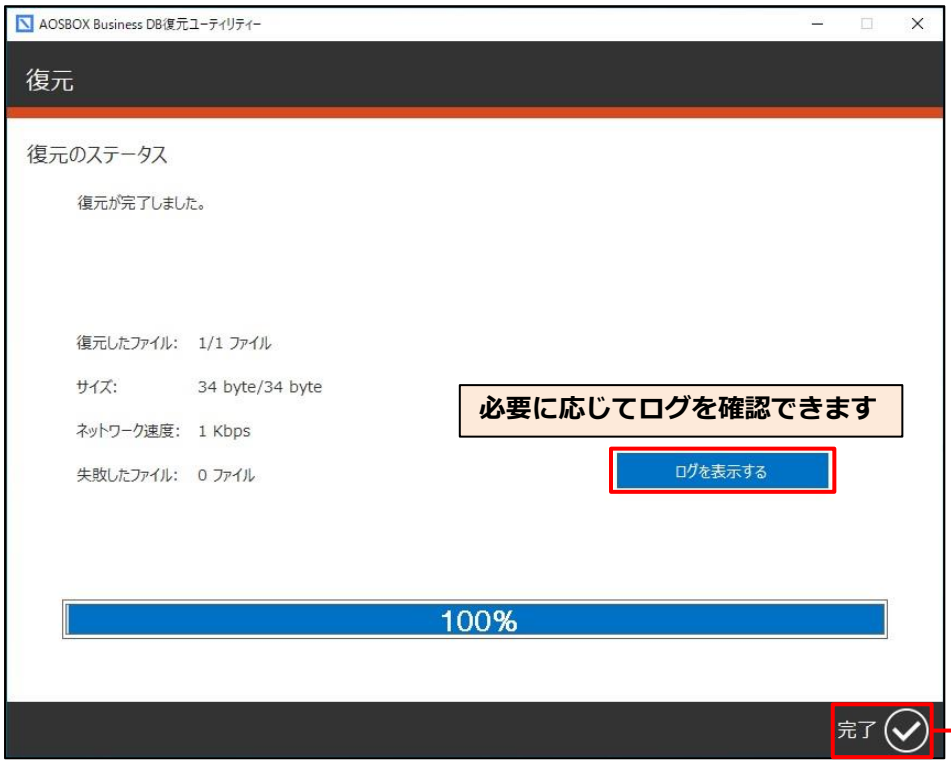
⑦ **「次へ」**をクリックすると、復元を開始します。

アプリからの復元



コールドストレージからの復元の場合、左画面が表示されます。

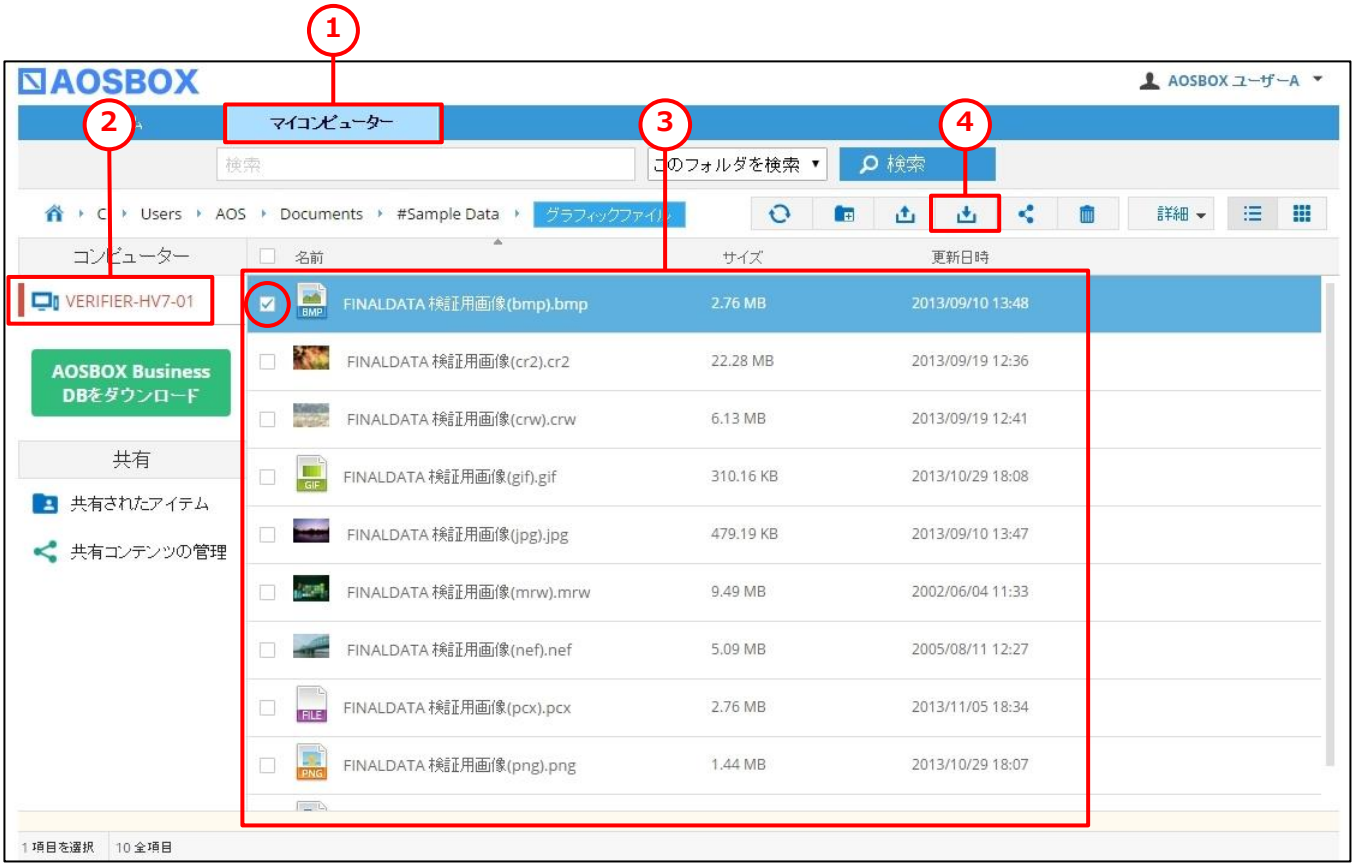
ダウンロードが開始可能になるまで、3～5時間程度の時間を要します。コンピューターの電源は入れたままにしておいてください。



8 復元が完了します。**「完了」**をクリックして、ホーム画面に戻ります。

Webブラウザからの復元

Webブラウザからバックアップデータを復元（ダウンロード）する方法を説明します。
※コールドストレージの場合、復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。開始後は通常ストレージと同様の速度で復元を行います。

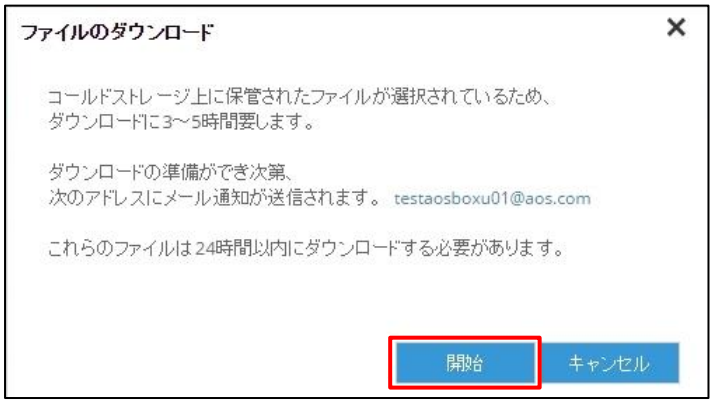


1. マイコンピューターへ移動します。
2. 復元したいデータがあるコンピューターを選択します。
3. アイコンをクリックして復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。
4. **「ダウンロード」**をクリックします。通常ストレージの場合は、直ちに復元（ダウンロード）を開始します。コールドストレージの場合は、次ページの手順⑤へ進んでください。

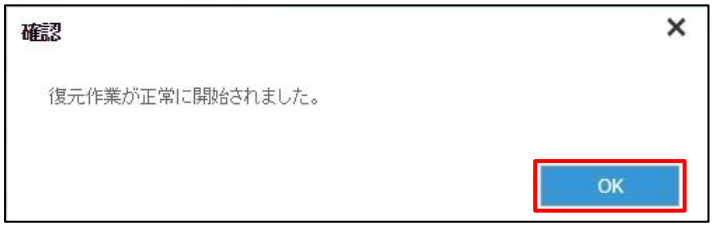
複数ファイルを同時にダウンロードした場合は、「Download.zip」という一つのファイルにまとまっています。圧縮されていますので、解凍してお使いください。

Webブラウザからの復元

⑤ 以下のポップアップが表示されますので、確認の上**「開始」**をクリックします。
ダウンロードが開始可能になるまで、3～5時間程度の時間を要します。



⑥ 以下のポップアップが表示されますので、**「OK」**をクリックします。

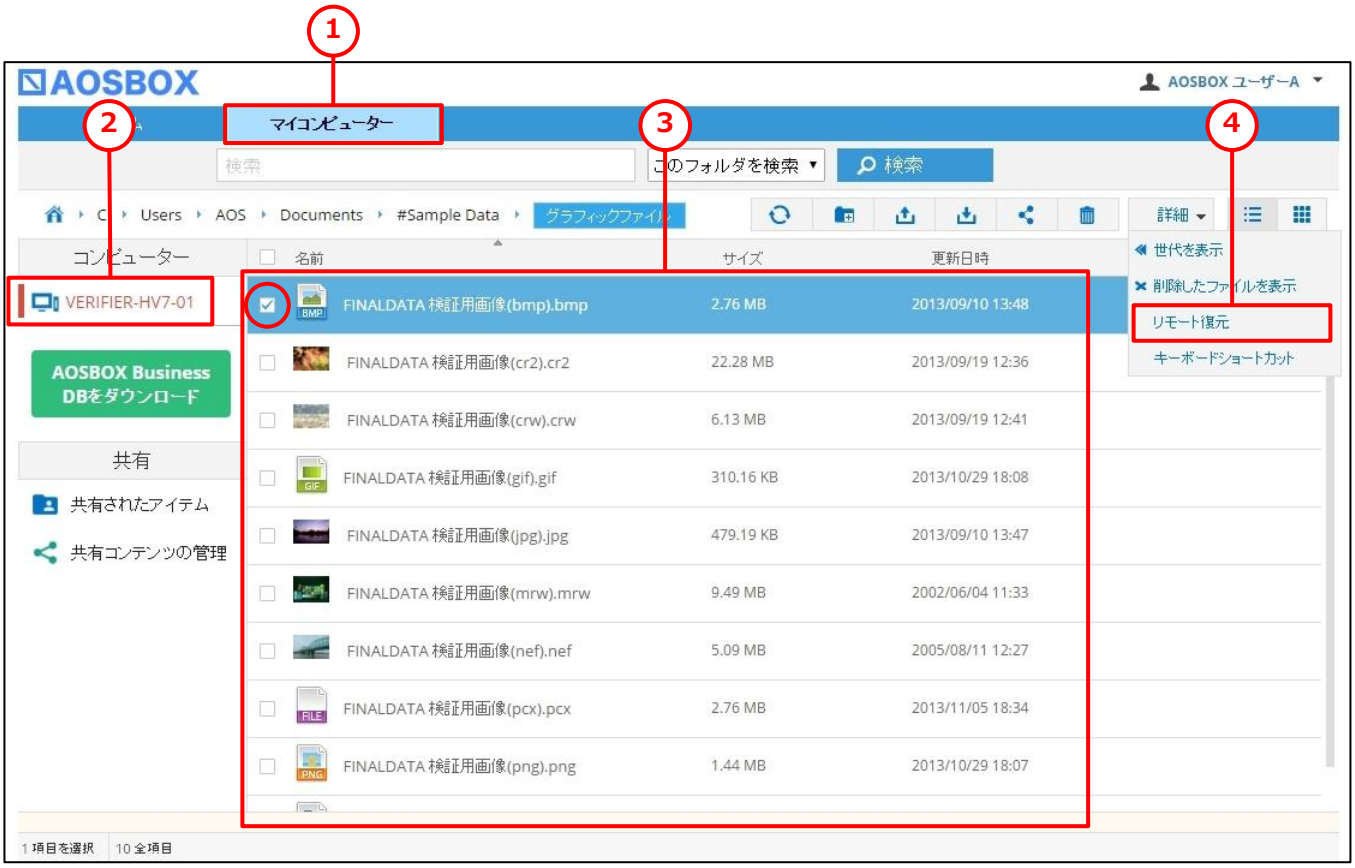


⑦ 送信されたメールのリンクからファイルを復元（ダウンロード）します。

バックアップデータの復元は、基本的には**アプリから行う**ようにしてください。Webコンソールからのダウンロードも可能ですが、Webコンソールの場合は、コールドストレージの容量制限（ダウンロードは一日100MBまで）があったり、ネットワーク環境によっては、セッションのタイムアウトが起こるためです。

リモート復元

Webブラウザ経由のリモート操作によりアプリからバックアップデータを復元する方法を説明します。
復元先はAOSBOX Business DBがインストールされているパソコンとなります。
※コールドストレージの場合、復元を開始するまでには**3～5時間**の時間を要します。開始後は通常ストレージと同様の速度で復元を行います。



① マイコンピューターへ移動します。

② 復元したいデータがあるコンピューターを選択します。

③ アイコンをクリックして復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。

④ **「詳細」→「リモート復元」**をクリックして、リモート復元のオプション（次ページ図）を表示します。

リモート復元

⑤ 各オプション（参考：P30）を選択して**「OK」**をクリックすると、15分以内に復元を開始します。

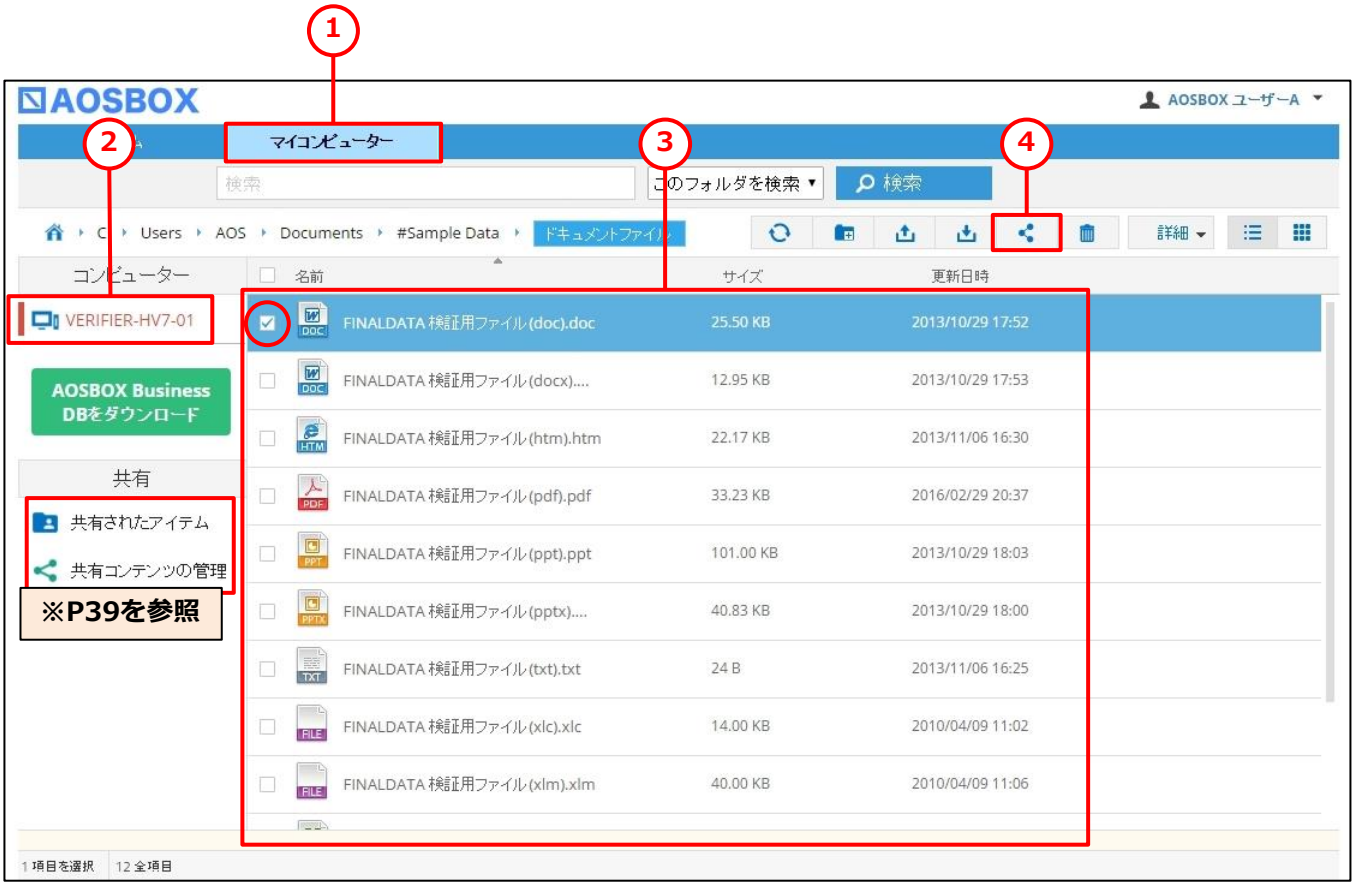
⑥ 以下のポップアップが表示されますので、**「OK」**をクリックします。

⑦ 復元完了後、タスクトレイに表示されるAOSBOX Business DB復元ユーティリティーアイコンをクリックして、さらに**「開く」**をクリックすると、復元結果の詳細を確認できます。

AOSBOX Business DB
復元ユーティリティーアイコン：

共有

Webブラウザからバックアップデータを共有する方法を説明します。



1. マイコンピューターへ移動します。
2. 共有したいデータがあるコンピューターを選択します。
3. アイコンをクリックして共有したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーにチェックを入れます。
4. 「共有」をクリックして、共有メニューを表示します。

共有メニューを表示すると、3通りの共有方法がタブで表示されます。次ページ以降でそれぞれの方法について説明します。

5 a AOSBOX Business DBのユーザー同士で共有する場合は**「ユーザー情報」**をクリックします。

ユーザー名に共有したいユーザー名を入力、権限を選択の上、**「保存」**をクリックしてください。

閲覧 & ダウンロード：
共有された側は、当該ファイルの閲覧、ダウンロードのみ可能。
フルアクセス：
共有された側は、当該ファイルの閲覧、ダウンロードに加えて、**クラウドから削除すること**が可能。

共有されたユーザーは「共有されたアイテム」(※P39を参照)から、当該ファイルにアクセスします。

5 b リンクを作成して共有する場合は**「リンク作成」**をクリックします。

ボックス内のURLをコピー＆ペーストの上、使用してください。

共有先にこのURLをメール、チャット等で知らせることで、当該ファイルにのみアクセスさせることが可能になります。

5 c 専用メールを送信して共有する場合は**「メール」**をクリックします。

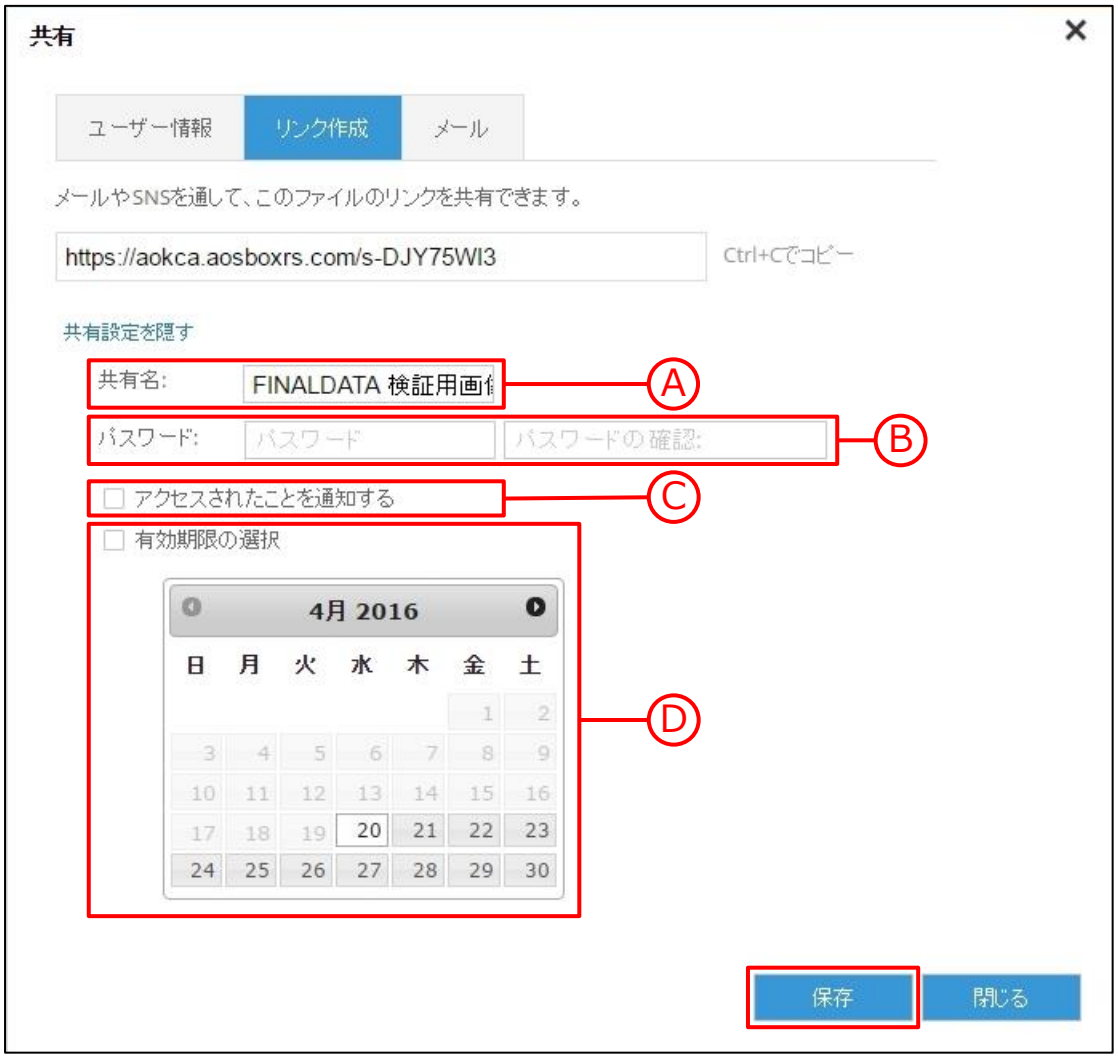
宛先、メッセージ（任意）を入力の上、**「メール送信」**をクリックしてください。

共有先に送信された専用メール本文内のリンクから、当該ファイルにのみアクセスさせることが可能になります。

※この際、メールの送信履歴は残りませんので注意してください。

共有

「共有設定を追加」をクリックすると、以下の設定が可能です。設定後は**「保存」**をクリックしてください。



Ⓐ 共有する際に、ファイル・フォルダー名を任意のものに変更することができます。

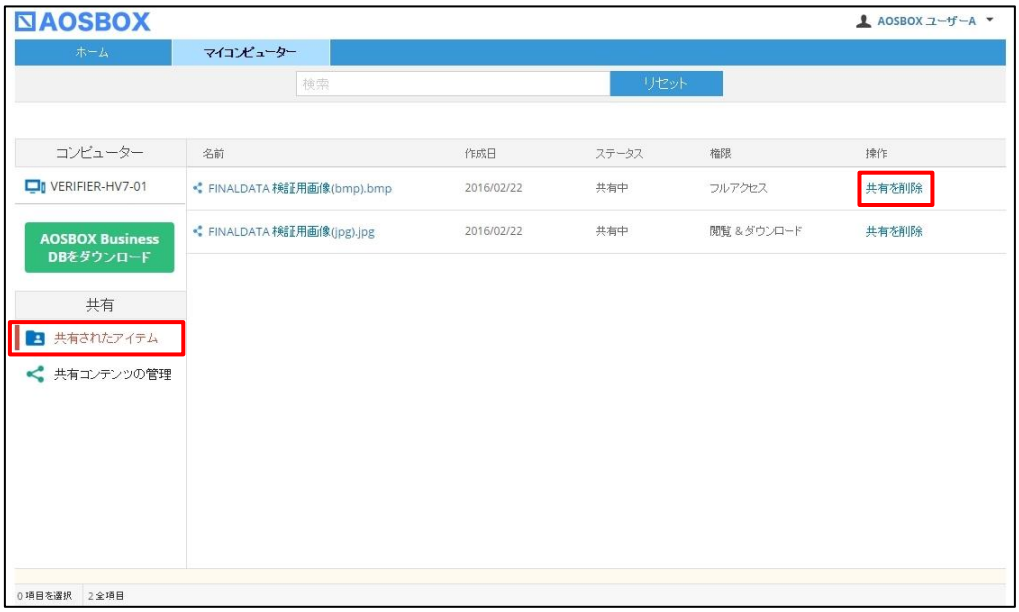
Ⓑ 共有したファイル・フォルダーへアクセスする際に、パスワードが必要となるように設定することができます。

Ⓒ 共有したファイル・フォルダーへアクセスされた時、アカウントのメールアドレスへ通知を受け取ることができます。

Ⓓ 共有設定に有効期限を設けることができます。

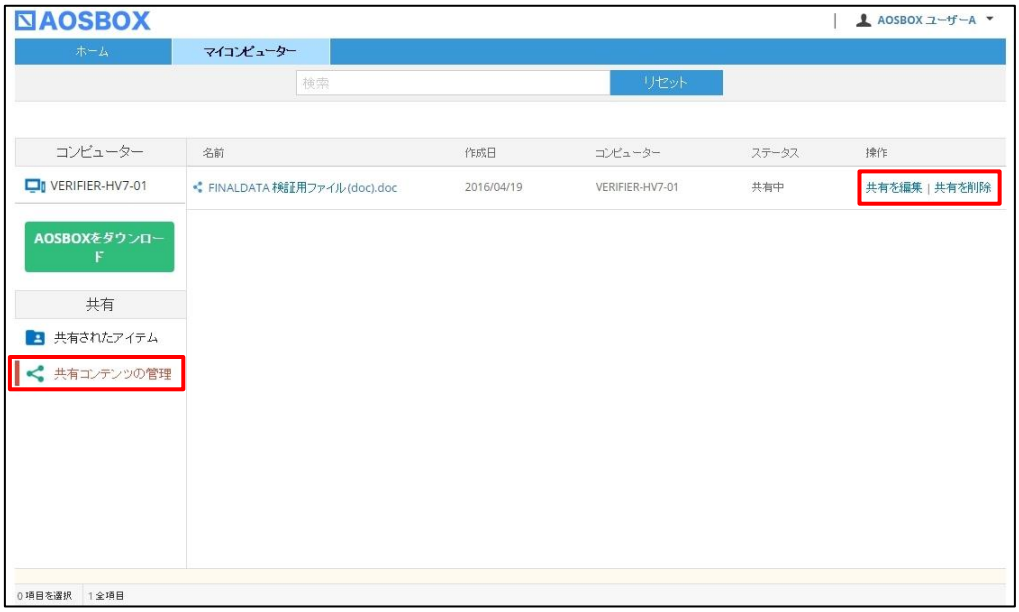
共有されたアイテム

他のユーザーから共有されたファイル・フォルダーを一覧で表示します。ここから各ファイルにアクセスが可能です。また共有を解除することも可能です。



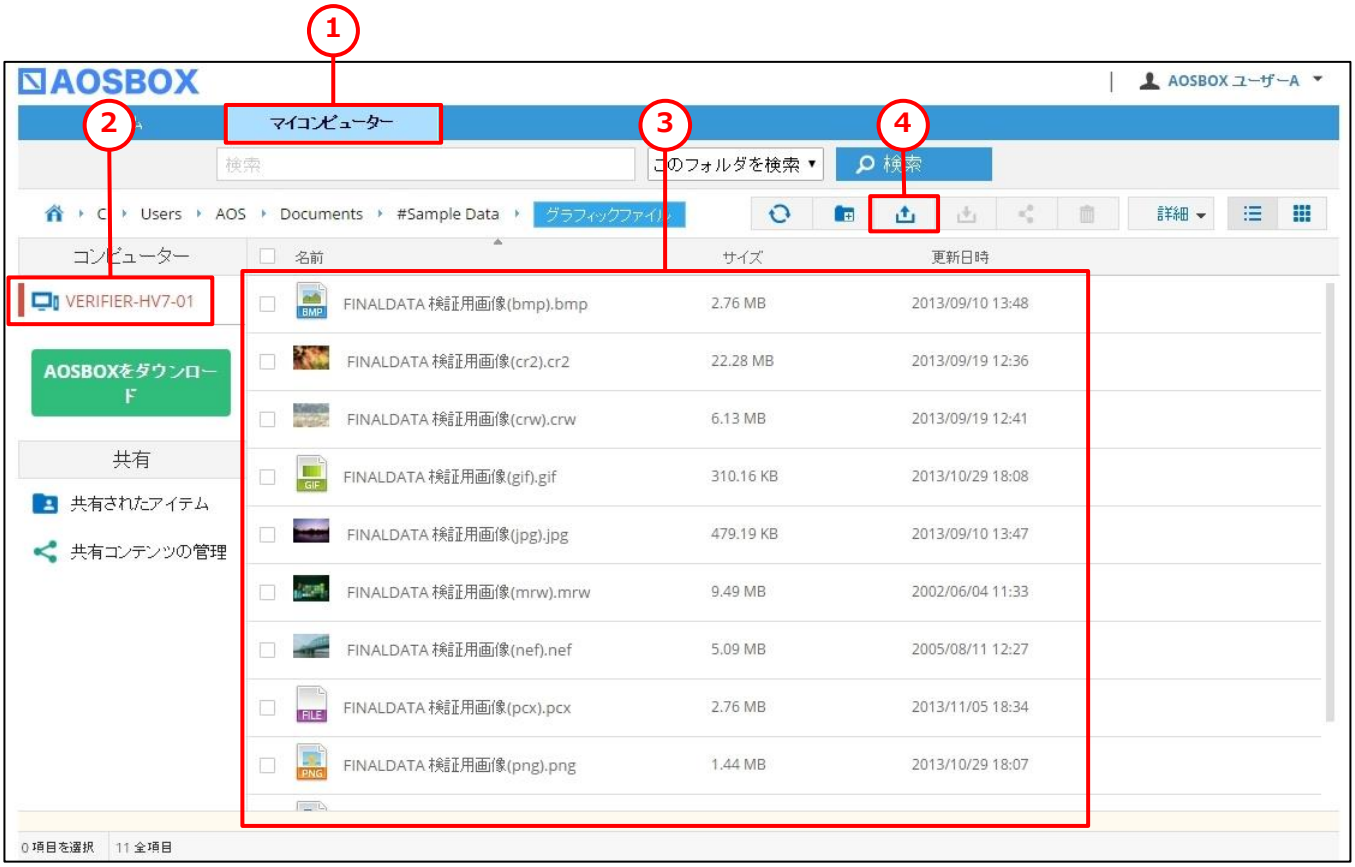
共有コンテンツの管理

自身が共有したファイル・フォルダーを一覧で表示します。共有設定を編集、解除することが可能です。

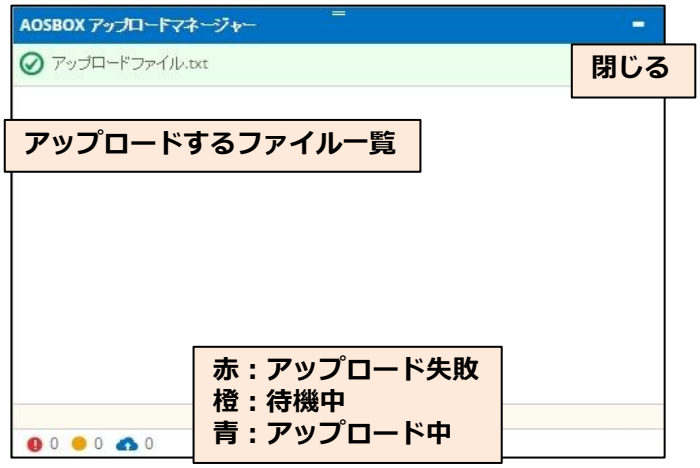


アップロード

Webブラウザを使用してファイル・フォルダーをアップロードする方法を説明します。



1. マイコンピューターへ移動します。
2. アップロード先のコンピューターを選択します。
3. アイコンをクリックして、アップロード先のフォルダーを表示します。
4. 「アップロード」をクリックして、ファイルをアップロードします。OSの「開く」ウィンドウが表示されますので、アップロードしたいファイルを選択して「開く」をクリックしてください。



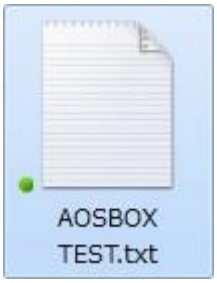
アップロード中は、左の「AOSBOX アップロードマネージャー」が表示され、アップロード状況をお知らせします。アップロードが終了しましたら、このウィンドウは閉じてください。

ちょっとメモ

ファイル・フォルダーのアップロードは、Webブラウザでアップロード先のフォルダーを表示させて、そこへドラッグ＆ドロップすることでも可能です。

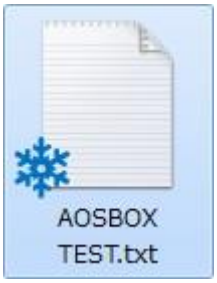
6．バックアップマーカー

各ファイル・フォルダーのバックアップ状況につきましては、「バックアップマーカー」で確認することができます。バックアップ対象のファイル・フォルダーアイコンの左下部分に小さな印が付与されています。



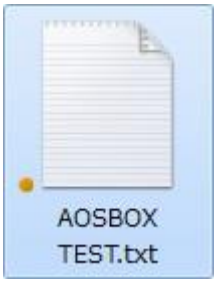
緑色ボタン：

最新の状態で通常ストレージにバックアップされています。



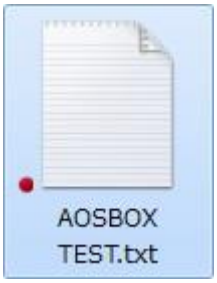
Coolボタン：

最新の状態でコールドストレージにバックアップされています。



橙色ボタン：

バックアップされていますが、前回のバックアップからファイルが更新されています。（最新の状態がまだバックアップされていません。）



赤色ボタン：

バックアップ対象になっていますが、まだ一度もバックアップされていません。

雲マーク：

バックアップ対象になっているフォルダーを意味しています。

以下の手順でマーカーを付与するよう設定することができます。

【バックアップマーカーの設定方法】

1．タスクトレイ（画面右下の時刻が表示されている付近）にあるAOSBOX Business DBアイコンを右クリックします。

2．「AOSBOX Business DB ホーム画面を表示する」をクリックして、ホーム画面を表示します。

3．「設定」をクリックします。

4．「高度な設定」をクリックします。

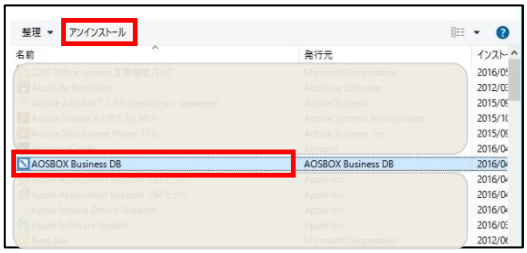
5．「AOSBOX Business DBのマーカーを表示する」にチェックを入れます。

6．右下の「保存」をクリックして、次に表示されるウィンドウで「はい(Y) 」をクリックすれば設定完了です。

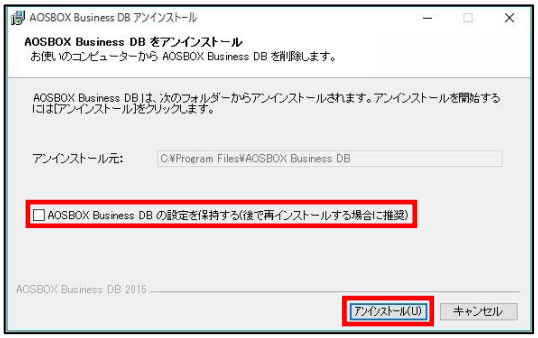
7．アプリのアンインストール

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをアンインストールします。アンインストールは、**必ず管理者アカウントを削除する前に**行ってください。

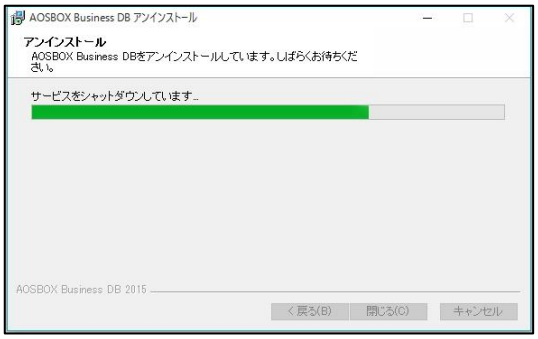
① お使いのOSの**「プログラムと機能」**から**「AOSBOX Business DB」**を選択して**「アンインストール」**をクリックします。



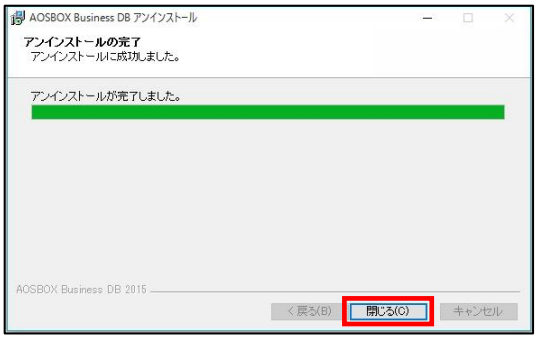
②「AOSBOX Business DB アンインストール」ダイアログが表示されます。**チェックボックスのチェックを外してから、「アンインストール(U)」**をクリックします。



③アンインストールが開始します。しばらくするとアンインストールが終了します。



④アンインストールが完了しました。**「閉じる(C)」**をクリックします。



②「AOSBOX Business DB の設定を保持する」のチェックボックスは、以後ご利用にならない場合、不具合のため再インストールする場合は、チェックを外してください。

アカウントの削除については、事前に販売店へご連絡の上、指示に従ってください。

AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■動作環境

■Windows版:

システム要件は次の通りです:

・Windows 11(64bit版対応)／Windows 10(各32/64bit版対応)（日本語版）
・Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016（日本語版）
Windows Insider Preview上での動作はサポートされません。
Windows Serverの場合、デスクトップエクスペリエンスとしてセットアップされている必要があります。

・ネットワーク速度：128kbps以上（推奨10Mbps以上）のインターネット接続環境
SSL/TLS1.2プロトコルによる通信が必須となります。それらの接続を有効にしてください。

・解像度：1024 x 768以上の画面解像度

※Windows Storage Server 搭載製品および、NAS製品をPC経由でバックアップをご検討の場合は、トライアル版などを使用して、運用に近い条件（容量/ファイル数）で十分な検証をお願いいたします。

■AOSBOX Web管理ページ:

AOSBOX Web管理ページにアクセスするには、最新のブラウザーをご利用ください。以下のブラウザーを使用することを推奨します:

・Microsoft Edge
・Mozilla Firefox
・Google Chrome

■モバイル端末:

AOSBOXでは、iOSやAndroid OSを搭載したスマートフォンで、AOSBOXモバイルビューアを使用することでパソコンでバックアップしたファイルの閲覧やダウンロードを行うことができます。
本マニュアルの対象となるAOSBOXではモバイル端末のバックアップはできません。モバイル端末のバックアップには、 AOS Cloud をご利用ください。

AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■おまかせバックアップ対象ファイル

■メール

・Outlook 2003～2013（既定のフォルダーにある*.pstファイル）
・Windows (Live) メール（既定のフォルダーにある*.emlファイル、*.contactファイル、およびstationary files、community files、.oeaccount、 rules）
・Outlook Express（既定のフォルダーにある*.dbxファイル、*.wabファイル）

■デスクトップ

デスクトップ上にあるショートカットを除くすべてのファイル・フォルダー

■マイドキュメント

マイドキュメント/パブリック（共有）ドキュメントフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー

■Officeファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

[.doc][.docx][.dot][.dotx][.docm][.dotm][.txt][.rtf][.wri][.abw][.odt][.ott][.stw][.vor][.sdw][.fodt]
[.psw][.vot][.sxw][.lwp][.wpd][.ppt][.pps][.pot][.pptx][.pptm][.potx][.potm][.ppam][.ppsx][.ppsm]
[.ppa][.odp][.otp][.sxi][.sti][.sxd][.sda][.sdd][.vop][.odj][.prz][.shw][.xls][.xlt][.xla][.xlsx][.xlsm]
[.xltx][.xltm][.xlsb][.xlam][.ods][.ots][.sxc][.stc][.dif][.slk][.fods][.pxl][.vos][.qpw][.wk1][.wk3]
[.wk4][.mdb][.mdw][.mda][.adb][.ade][.accdb][.accde][.accdt][.accdr][.odb][.apr][.dbf][.odf]
[.sxm][.pdx][.vsd][.vss][.vst][.vdx][.vsx][.vtx][.odg][.otg][.std][.fodg][.pub][.mpp][.mpd][.mpt]
[.mpw][.mpx]

■画像ファイル

ユーザーのマイピクチャ、およびパブリック（共有）ピクチャフォルダーにあるすべてのファイル

■音楽ファイル

ユーザーのマイミュージック、およびパブリック（共有）ミュージックフォルダーにあるすべてのファイル

■ビデオファイル

ユーザーのマイビデオ、およびパブリック（共有）ビデオフォルダーにあるすべてのファイル

■ブックマーク

Internet Explorer、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera、およびSafariのブックマーク（お気に入り）

AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■財務・会計ファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

・C:¥Program Data
・C:¥ACCP
・C:¥OBCWIN
・C:¥MSSQL7

・Microsoft Money:[.mny]
・Quicken:[.qbw][.qel][.qsd][.qph]
・Quickbooks:[.qbb]
・TurboTax:[.tax]
・TaxCut:[.t01][.t02][.t03][.t04][.t05][.t06][.t07][.t08][.t09]
・PeachTree:[.ptb]
・その他:
[.qdf][.ypr][.kyr][.ypb][.acc][.saccp][.jbi][.jbf][.ldf][.mdf][.hb1][.hb2][.hb3][.hb4][.hb5][.hb6]
[.hb7][.hb8][.hb9][.hb10][.hb11][.hb12][.hb13][.hb14][.hb15][.hb16][.he1][.he2][.he3][.he4]
[.he5][.he6][.he7][.he8][.he9][.he10][.he11][.he12][.he13][.he14][.he15][.he16][.klb1][.klb2]
[.klb3][.klb4][.klb5][.klb6][.klb7][.klb8][.klb9][.klb10][.klb11][.klb12][.klb13][.klb14][.klb15]
[.klb16][.hlx1][.hlx2][.hlx3][.hlx4][.hlx5][.hlx6][.hlx7][.hlx8][.hlx9][.hlx10][.hlx11][.hlx12][.hlx13]
[.hlx14][.hlx15][.hlx16][.ad1][.ad2][.ad3][.ad4][.ad5][.ad6][.ad7][.ad8][.ad9][.ad10][.ad11]
[.ad12][.ad13][.ad14][.ad15][.ad16][.ab1][.ab2][.ab3][.ab4][.ab5][.ab6][.ab7][.ab8][.ab9][.ab10]
[.ab11][.ab12][.ab13][.ab14][.ab15][.ab16][.kd1][.kd2][.kd3][.kd4][.kd5][.kd6][.kd7][.kd8][.kd9]
[.kd10][.kd11][.kd12][.kd13][.kd14][.kd15][.kd16][.kb1][.kb2][.kb3][.kb4][.kb5][.kb6][.kb7][.kb8]
[.kb9][.kb10][.kb11][.kb12][.kb13][.kb14][.kb15][.kb16][.kt1][.kt2][.kt3][.kt4][.kt5][.kt6][.kt7]
[.kt8][.kt9][.kt10][.kt11][.kt12][.kt13][.kt14][.kt15][.kt16][.dd1][.dd2][.dd3][.dd4][.dd5][.dd6]
[.dd7][.dd8][.dd9][.dd10][.dd11][.dd12][.dd13][.dd14][.dd15][.dd16][.db1][.db2][.db3][.db4]
[.db5][.db6][.db7][.db8][.db9][.db10][.db11][.db12][.db13][.db14][.db15][.db16][.lb1][.lb2][.lb3]
[.lb4][.lb5][.lb6][.lb7][.lb8][.lb9][.lb10][.lb11][.lb12][.lb13][.lb14][.lb15][.lb16][.lx1][.lx2][.lx3]
[.lx4][.lx5][.lx6][.lx7][.lx8][.lx9][.lx10][.lx11][.lx12][.lx13][.lx14][.lx15][.lx16]

■電子書籍とPDFと年賀状ソフト

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

・C:¥Program Data
・C:¥JUST

[.azw][.tpz][.azw1][.chm][.lit][.pdb][.pdf][.mobi][.prc][.tr][.tr2][.tr3][.fb2][.opf][.aeh]
[.lrf][.lrx][.epub][.pdg][.pkg][.dnl][.djvu][kml][.arg][.bfl][.bkk][.brn][.ceb][.ebk][.ebo]
[.ebx][.etd][.f4b][.hsb][.imp][.mbp][.meb][.nat][.oeb][.rb][.scb][.skn][.stk][.swb][.tcr]
[.tk3][.ubk][.vbk][.xeb][.ybk][.zvr]

・筆まめ:[.fwa][.fwb]
・筆王:[.fzd][.pdn]
・筆ぐるめ:[.fga][.fgl][.idx][.fgt]
・楽々はがき:[.jsr][.jyd]
・はがきスタジオ:[.hsa][.hsd]

AOSBOX Businessの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■その他

・インターネットへの接続環境が必要です。また、クラウド上にファイルをバックアップするため、ネットワークにある程度の負荷がかかることが予測されます。

・1台のパソコンにつき、1インストールでご使用ください。

・1ユーザーで3台のパソコンのバックアップが可能です。

・他のバックアップアプリケーションを同時に導入すると、AOSBOXを含むバックアップアプリケーションの動作に影響が発生することがあります。なお、AOSBOXは、Windowsサービス「Volume Shadow Copy Service」を利用します。

・初回のバックアップはバックアップする容量によって、1日以上時間を要することがあります。

・コールドストレージのデータの復元には、3～5時間程度の待機時間が発生します。

・バックアップしたファイルをクラウド上から削除すると、バックアップ対象から外れます。

・世代管理しているファイルは特定の世代だけクラウドから削除することはできません。

・AOSBOXの契約を解除後に再契約しても、以前のバックアップデータは削除されていますので、復元等はできかねます。

・サーバーメンテナンスなどで復元できない時が発生する可能性がありますが、利用規約でご同意いただいた範囲外は保証できかねますので、ご了承ください。

AOSBOX
Business